

平成30年度

県民意識調査

報告書

平成30年8月

福岡県

◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の企画と実施機関	2
II. 対象者属性	3
III. 調査結果	6
1. 県民の幸福実感	6
(1) 幸福実感の点数付け	6
(2) 幸福実感を判断する上で重視した基準	8
(3) 幸福実感を判断する上で重視した事項	8
(4) 5年前と比べての現在の幸福実感	9
(5) 現在と比べて5年後の幸福実感の予測	9
(6) 福岡県に生まれて良かった、または、生活して良かったと思う度合い	10
2. 県の施策について	11
☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆	11
(1) 防災対策	11
(2) 防犯・事故対策	12
(3) 雇用対策	13
(4) 高齢者・障がいのある人	14
(5) 女性	15
(6) 子育て支援	16
(7) 教育	17
(8) 若者	18
(9) 保健・医療	19
(10) 商工業の振興	20
(11) 観光振興	21
(12) 農林水産振興	22
(13) 地域振興	23
(14) インフラ・社会基盤整備	24
(15) 環境	25
(16) NPO・ボランティア	26
(17) 文化・スポーツ	27
(18) 国際交流	28
3. 自由意見	29
4. 本調査における特徴的な結果	40
(1) 幸福実感の“判断基準”と“重視事項”による幸福実感の差	40
(2) 家族構成による幸福実感の差	42
(3) 男女別・年代別による幸福実感の差	46
IV. 調査票	53

I. 調査概要

1. 調査目的

県民の幸福実感と県が進める施策に対する県民ニーズを把握し、今後の県政運営へ反映させることを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|-------------|--|
| (1) 調査地域 | 福岡県全域 |
| (2) 調査対象者 | 県内に居住する 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 4,000 サンプル |
| (4) 標本抽出方法 | 層化二段無作為抽出
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、400 地点を無作為抽出。ただし、単純に比例配分すると集計・分析に耐えうる十分な資料が得られない地点が出るため、北九州、福岡、筑豊、筑後の 4 地域に分け、各地域 100 地点になるよう、均等に割り当てを行った。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 名を抽出した。 |
| (5) 標本抽出台帳 | 平成 30 年 6 月現在の選挙人名簿 |
| (6) 調査方法 | 郵送法 |
| (7) 調査期間 | 平成 30 年 6 月 27 日～平成 30 年 7 月 22 日 |
| (8) 回収数 (率) | 2,022 サンプル (50.6%) |
| (9) 集計方法 | 地点数を 4 地域で均等配分したため、以下の方法でウェイト値を算出し、加重集計を行う。
①各地域の調査対象年齢の人口を算出。
②各地域の人口を最も人口の少ない地域の人口で除し、人口比の係数を求める。
③各地域の有効回収数を人口の最も少ない地域の有効回収数で除し、サンプル数の係数を求める。
④人口比の係数をサンプル数の係数で除し、ウェイト値を求める。 |

(10) 地域区分 調査地域は下記のとおり、4地域に区分している。

地域	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
政令指定都市	北九州市	福岡市		
市	行橋市 豊前市 中間市	筑紫野市 春日市 大野城市 宗像市 太宰府市 古賀市 福津市 朝倉市 糸島市	直方市 飯塚市 田川市 宮若市 嘉麻市	大牟田市 久留米市 柳川市 八女市 筑後市 大川市 小郡市 うきは市 みやまし
町村	芦屋町 水巻町 岡垣町 遠賀町 荻田町 みやこ町 吉富町 上毛町 築上町	那珂川町 宇美町 篠栗町 志免町 須恵町 新宮町 久山町 粕屋町 筑前町 東峰村	小竹町 鞍手町 桂川町 香春町 添田町 糸田町 川崎町 大任町 赤福村 福智町	大刀洗町 大木町 広川町

3. 調査の企画と実施機関

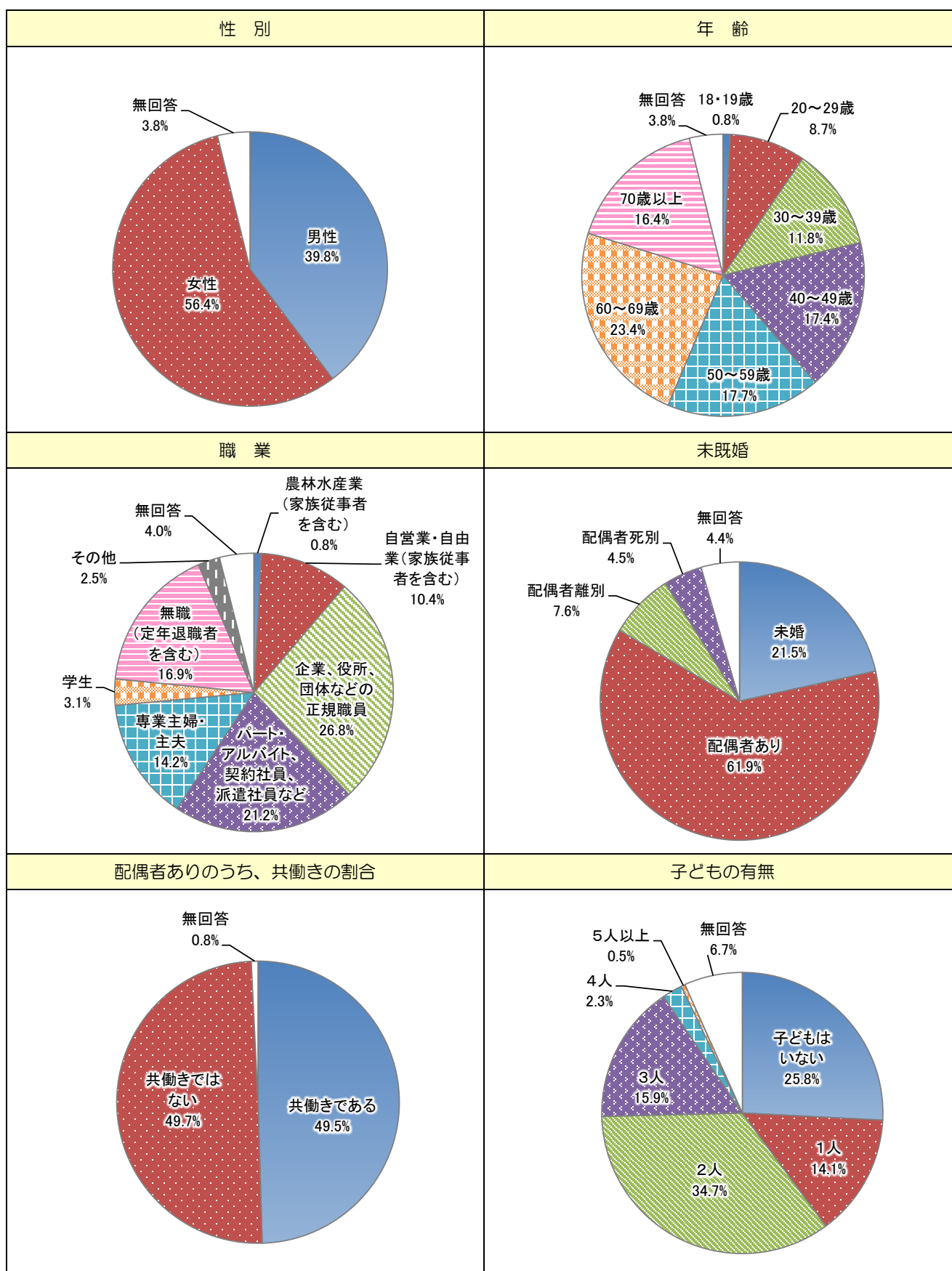
企画 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課

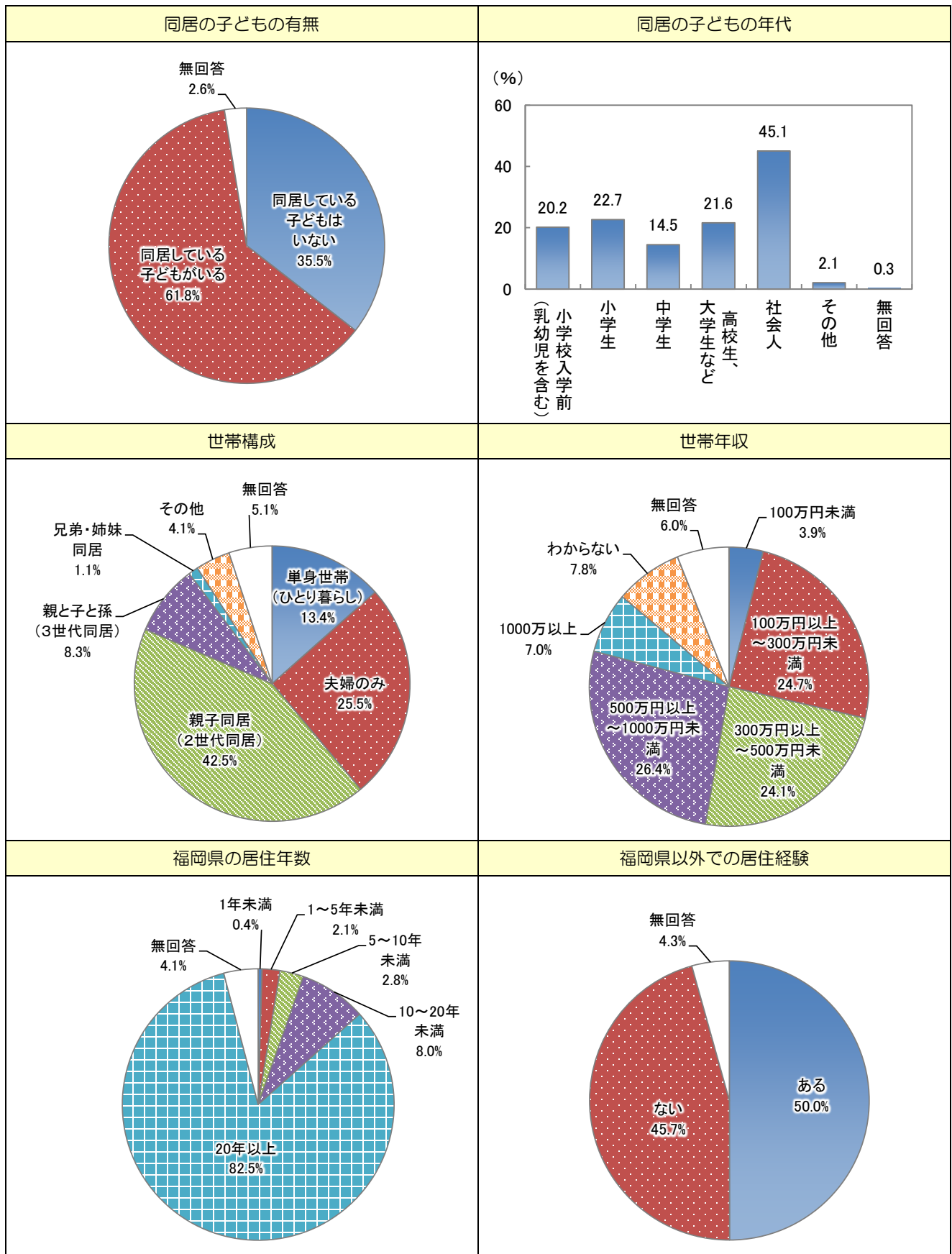
調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター九州事務所

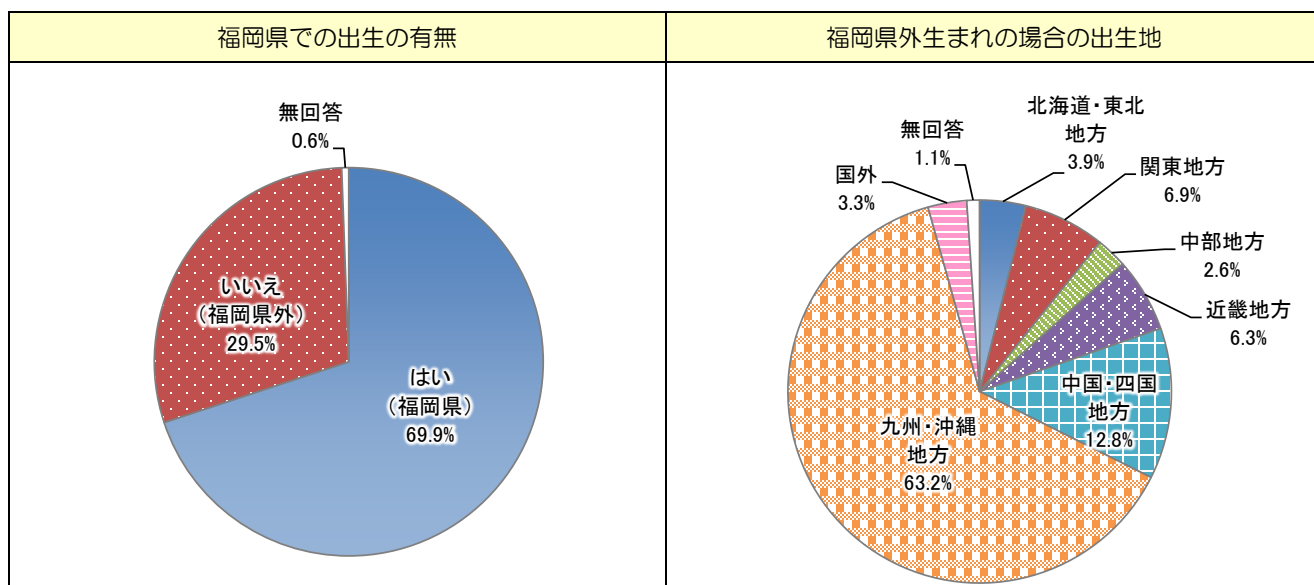
【 調査結果利用上の注意 】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (4) サンプル数が僅少となる属性項目については、比率が変動しやすいため、参考程度の掲載にとどめ、分析からは除外している。

II. 対象者属性







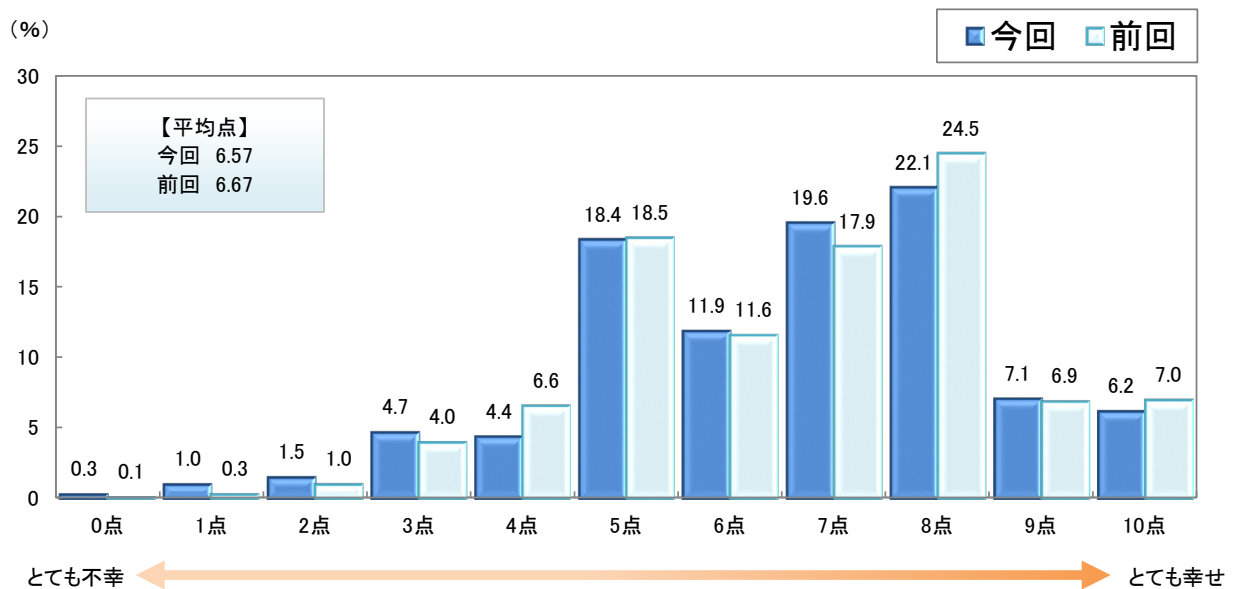
Ⅲ. 調査結果

1. 県民の幸福実感

(1) 幸福実感の点数付け

現在の幸福実感について、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として点数付けしてもらった結果、県民の幸福実感は平均6.57点で、前回（平成29年度）の調査結果の調査結果から0.10点低くなっています。

幸福実感（前回調査との比較）

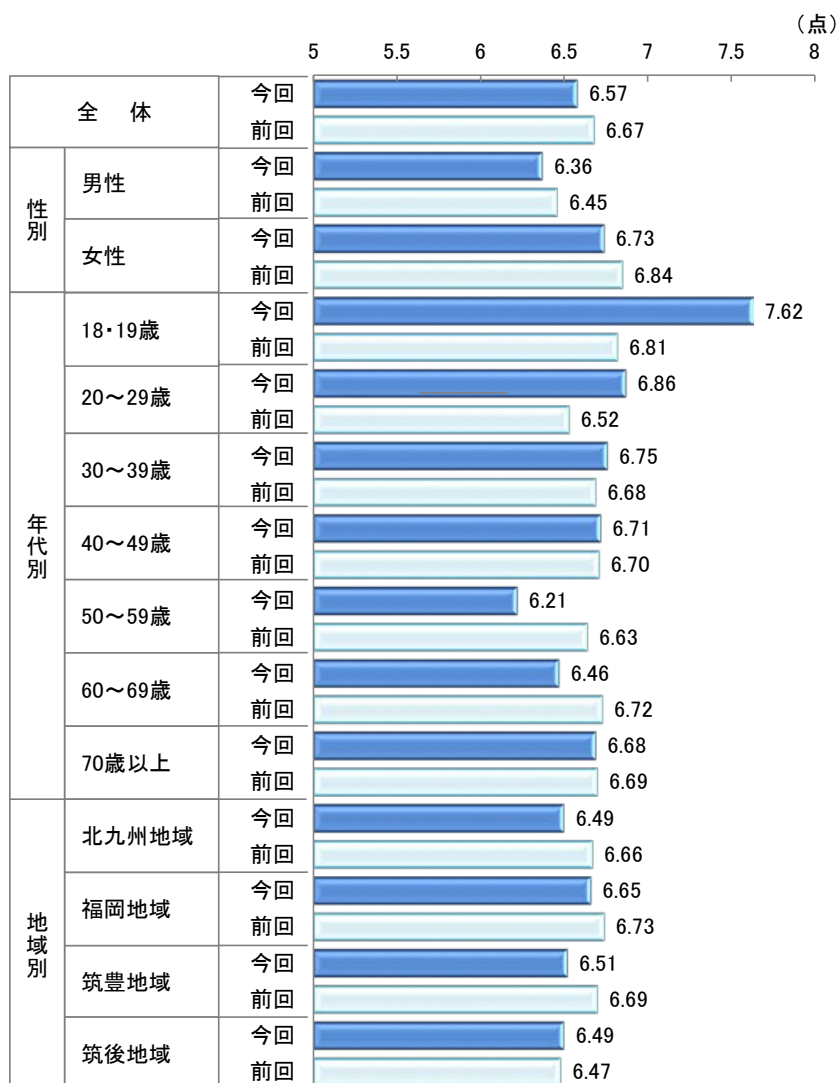


性別にみると、幸福実感の平均点は男性 6.36 点に対し、女性 6.73 点と女性が高くなっています。前回調査と比較すると、男女ともに点数は同程度下がっています。

年代別にみると、18・19 歳が 7.62 点で最も高く、20 歳代、30 歳代、40 歳代、70 歳代は県全体よりも高くなっています。一方で、50 歳代、60 歳代は県全体よりも低くなっています。前回調査と比較すると、18・19 歳と 20 歳代は点数が大きく上がり、50 歳代と 60 歳代は大きく下がっています。

地域別にみると、福岡地域が 6.65 点で最も高く、北九州地域・筑後地域は 6.49 点で最も低くなっています。前回調査と比較すると、筑後地域はほぼ同程度ですが、その他の地域はいずれも点数が下がっています。

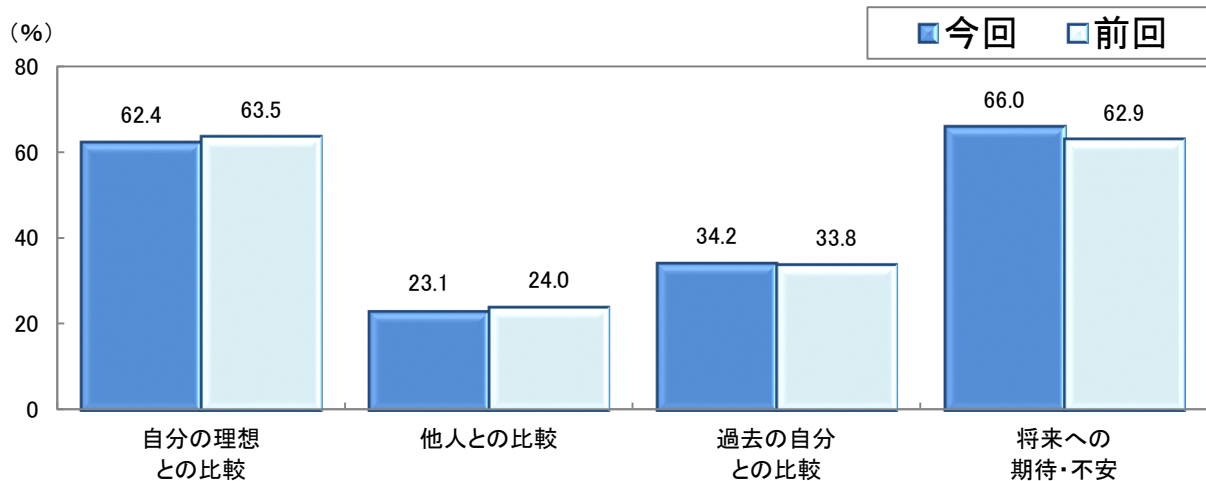
幸福実感平均点比較（性別、年代別、地域別）



(2) 幸福実感を判断する上で重視した基準

幸福実感を判断する上で重視した基準は、「将来への期待・不安」(66.0%)、「自分の理想との比較」(62.4%)の2項目が多くなっており、前回調査からほぼ横ばいとなっています。

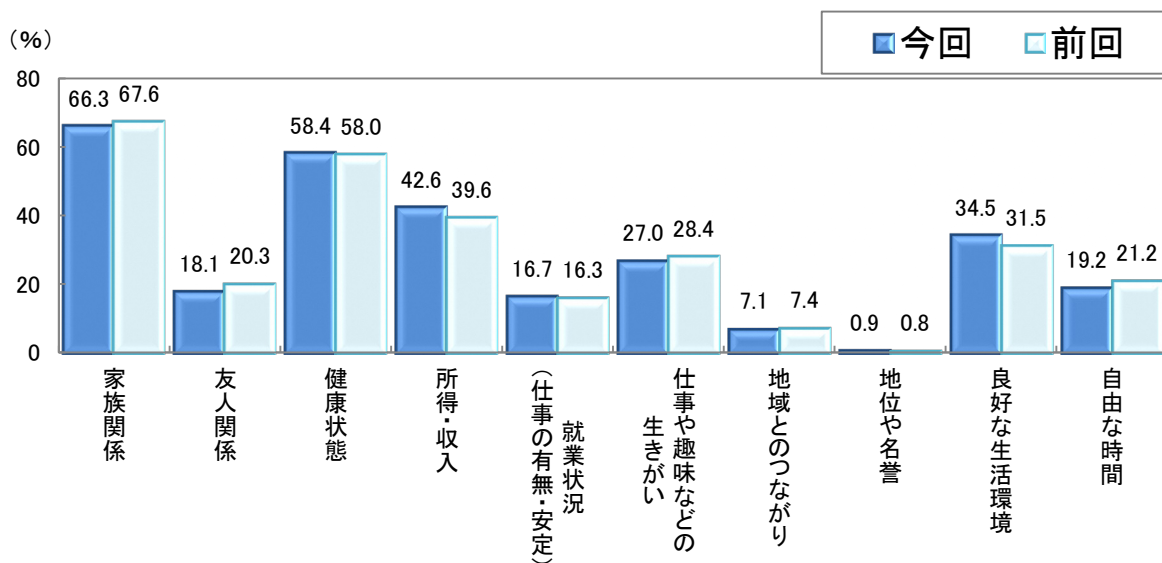
幸福実感を判断する上で重視した基準



(3) 幸福実感を判断する上で重視した事項

幸福実感を判断する上で重視した事項は「家族関係」(66.3%)が最も多く、次いで、「健康状態」(58.4%)、「所得・収入」(42.6%)、「良好な生活環境」(34.5%)の順となっています。前回調査と比較すると、全体的にほぼ横ばいとなっています。

幸福実感を判断する上で重視した事項

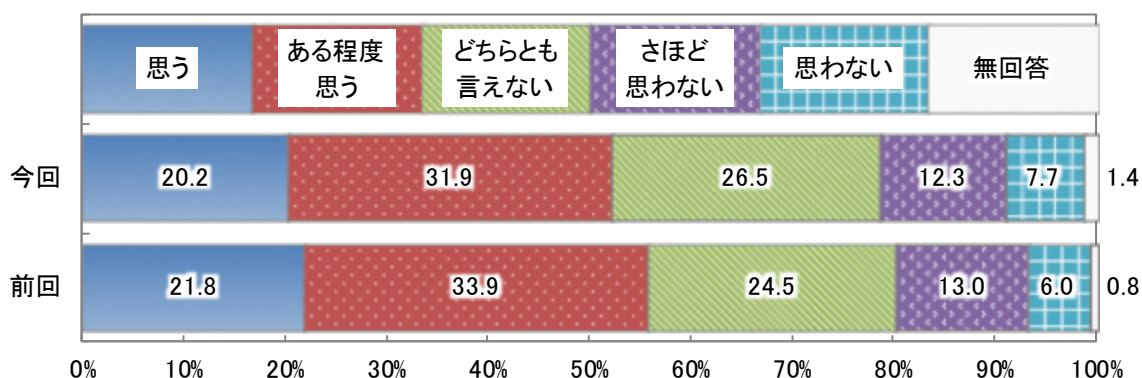


(4) 5年前と比べての現在の幸福実感

5年前と比べて幸せになっていると思うかについては、「ある程度思う」(31.9%)が最も多く、「思う」(20.2%)と合わせ52.1%と半数以上を占めています。なお、前回調査は55.7%でした。

「さほど思わない」(12.3%)と「思わない」(7.7%)を合わせると20.0%となっています。なお、前回調査は19.0%でした。

5年前と比べての現在の幸福実感



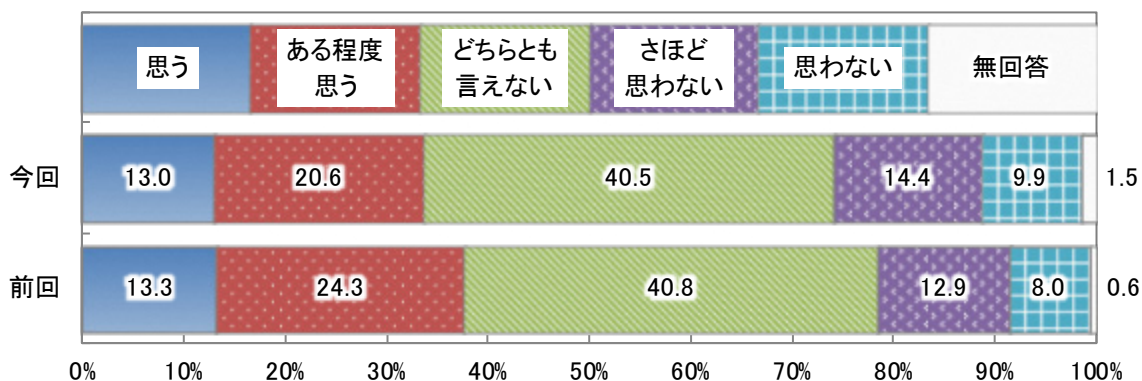
(5) 現在と比べて5年後の幸福実感の予測

5年後は今より幸せになっていると思うかについては、「どちらとも言えない」(40.5%)が最も多くなっています。

「思う」(13.0%)と「ある程度思う」(20.6%)を合わせると、33.6%となっています。なお、前回調査は37.6%でした。

「さほど思わない」(14.4%)と「思わない」(9.9%)を合わせると24.3%となっています。なお、前回調査は20.9%でした。

現在と比べて5年後の幸福実感の予測



(6) 福岡県に生まれて良かった、または、生活して良かったと思う度合い

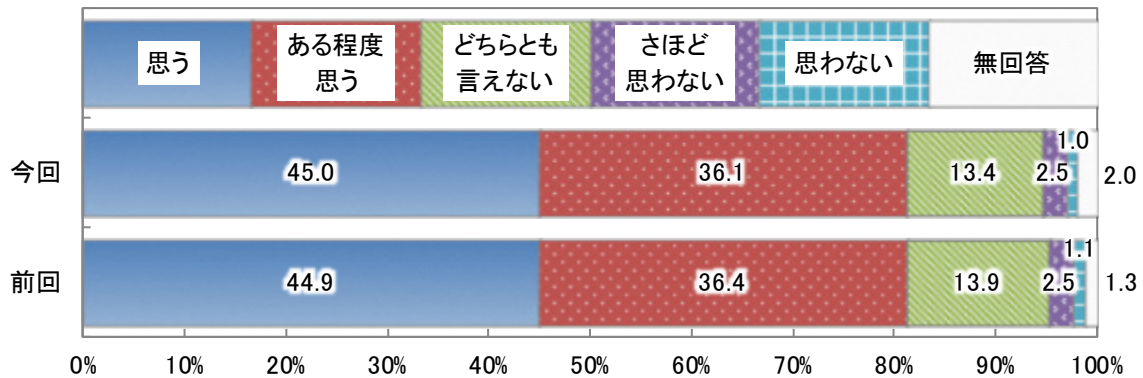
福岡県に生まれて良かった、または、生活して良かったと思う度合いについて、「思う」(45.0%)が最も多く、「ある程度思う」(36.1%)と合わせた『肯定的回答』は81.1%と8割を占めています。なお、前回調査は81.3%でした。

また、「さほど思わない」(2.5%)と「思わない」(1.0%)を合わせた『否定的回答』は3.5%となっています。なお、前回調査は3.6%でした。

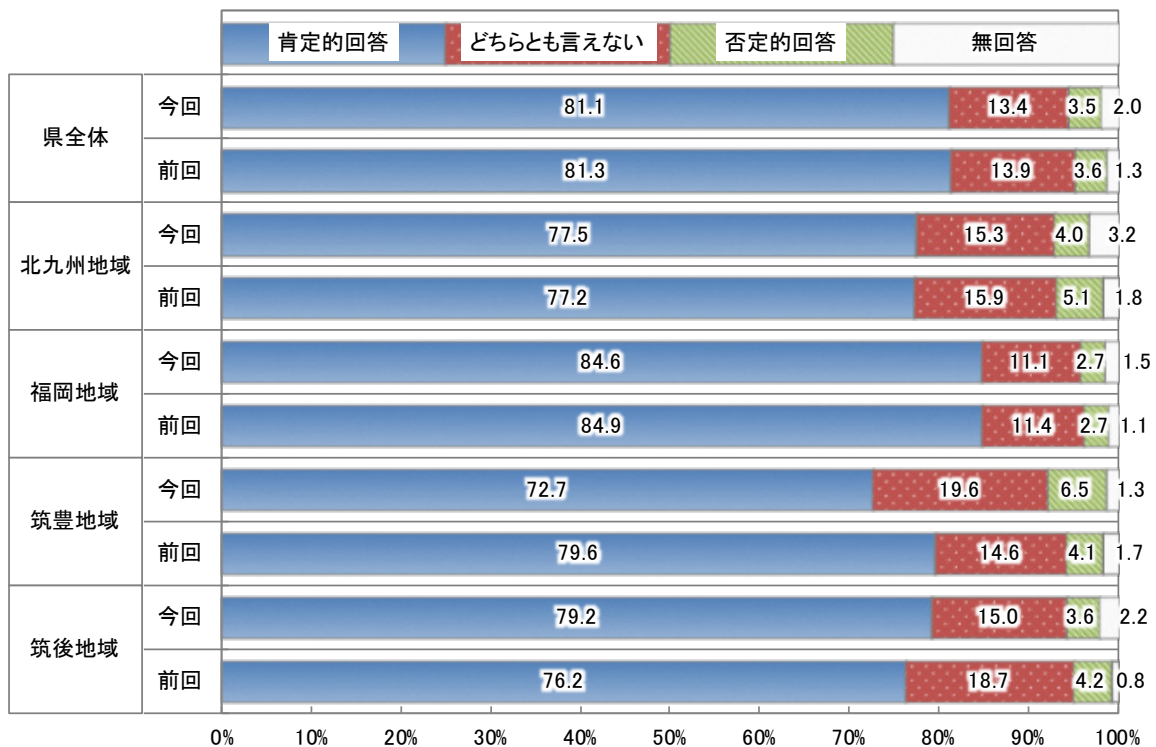
前回調査と比較すると、『肯定的回答』と『否定的回答』の割合はほぼ横ばいとなっています。

地域別にみると、『肯定的回答』は、北九州地域 77.5%、福岡地域 84.6%、筑豊地域 72.7%、筑後地域 79.2%となっています。

福岡県に生まれて良かった、または、生活して良かったと思う度合い



福岡県に生まれて良かった、または、生活して良かったと思う度合い(地域別)



2. 県の施策について

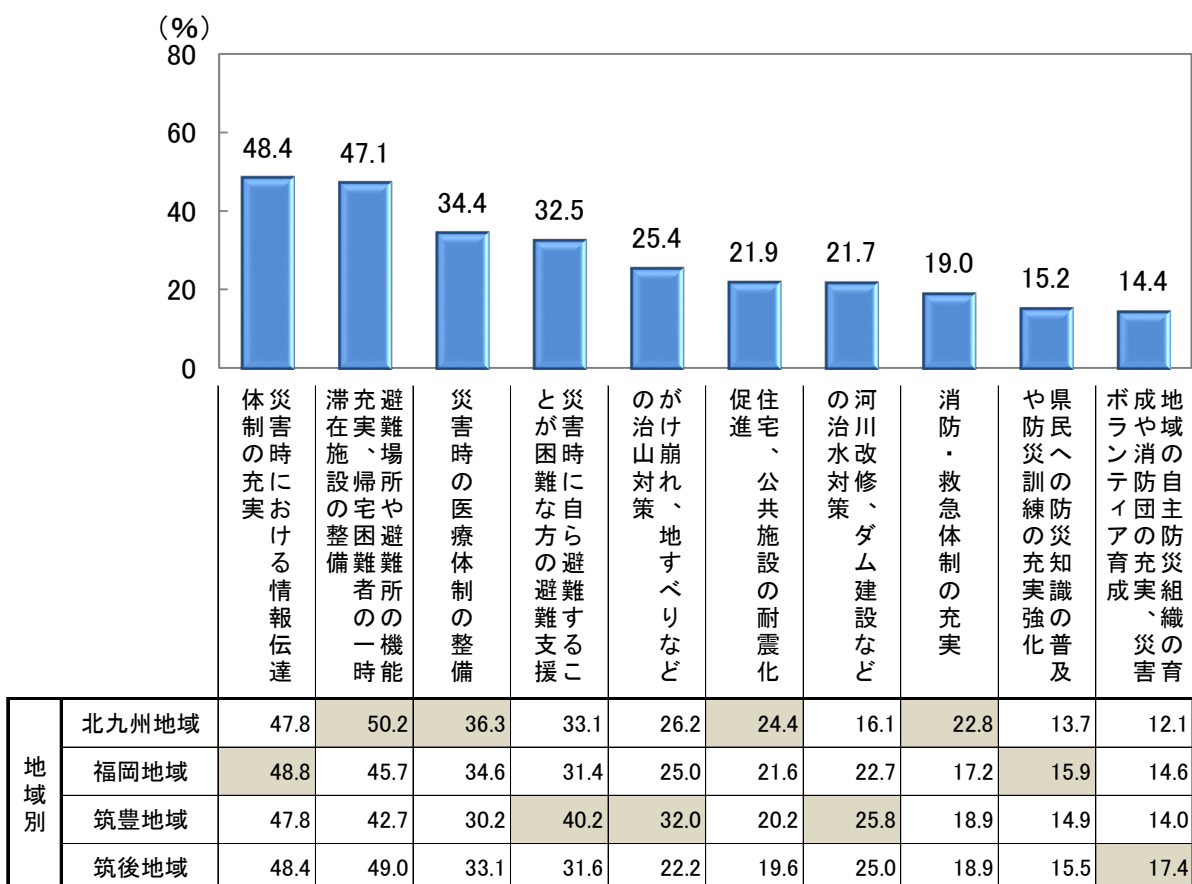
☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆

(1) 防災対策

県全体では「災害時における情報伝達体制の充実」(48.4%)が最も多く、次いで、「避難場所や避難所の機能充実、帰宅困難者の一時滞在施設の整備」(47.1%)、「災害時の医療体制の整備」(34.4%)、「災害時に自ら避難することが困難な方の避難支援」(32.5%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「消防・救急体制の充実」、筑豊地域では「災害時に自ら避難することが困難な方の避難支援」や「がけ崩れ、地すべりなどの治山対策」、筑後地域では「地域の自主防災組織の育成や消防団の充実、災害ボランティア育成」が他地域と比較して高くなっています。

防災対策



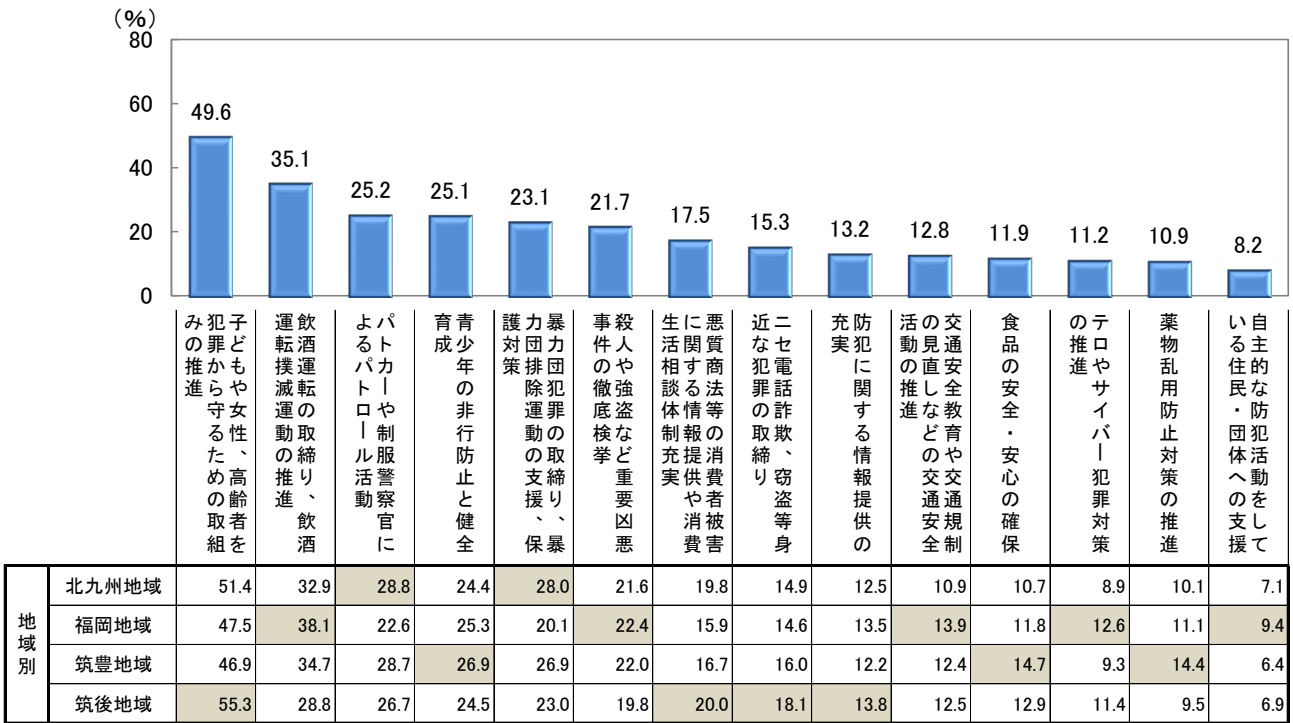
■ は4地域中で最も高い値の地域

(2) 防犯・事故対策

県全体では「子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組みの推進」(49.6%)が最も多く、次いで、「飲酒運転の取締り、飲酒運転撲滅運動の推進」(35.1%)、「パトカーや制服警察官によるパトロール活動」(25.2%)、「青少年の非行防止と健全育成」(25.1%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「飲酒運転の取締り、飲酒運転撲滅運動の推進」や「自主的な防犯活動をしている住民・団体への支援」、筑豊地域では「薬物乱用防止対策の推進」、筑後地域では「子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組みの推進」が他地域と比較して高くなっています。

防犯・事故対策



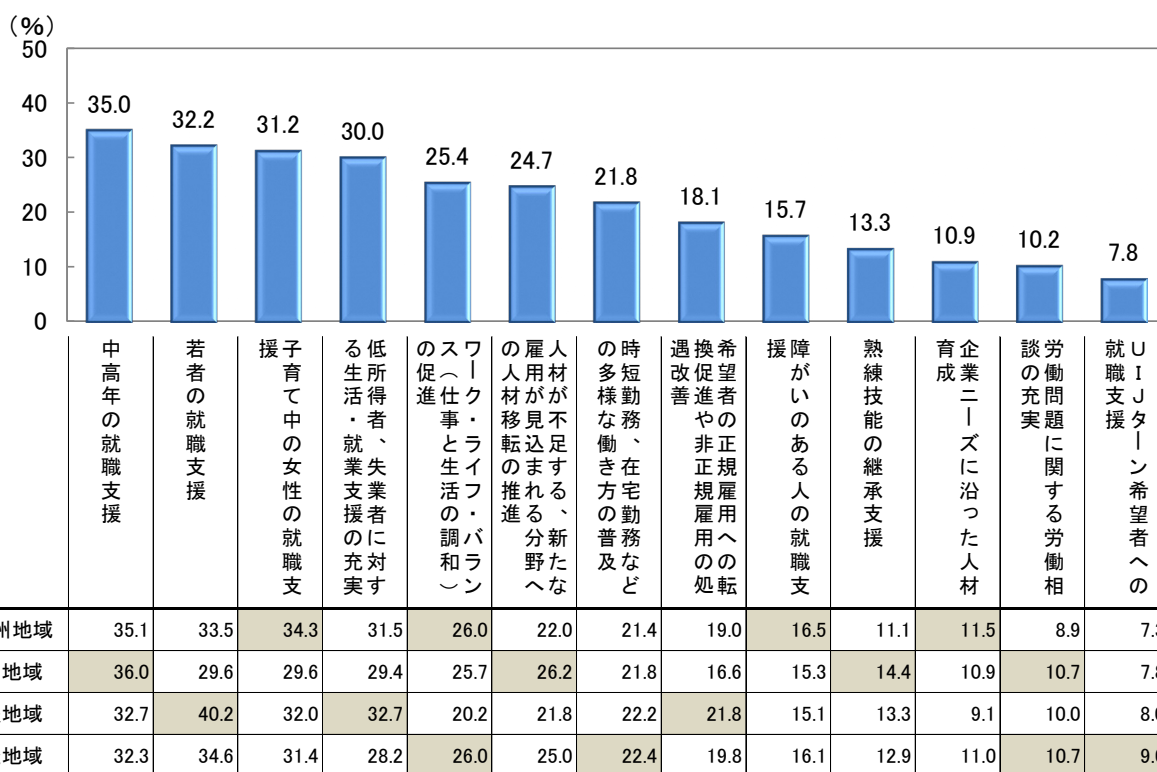
■は4地域中で最も高い値の地域

(3) 雇用対策

県全体では「中高年の就職支援」(35.0%)が最も多く、次いで、「若者の就職支援」(32.2%)、「子育て中の女性の就職支援」(31.2%)、「低所得者、失業者に対する生活・就業支援の充実」(30.0%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「子育て中の女性の就職支援」、福岡地域では「人材が不足する、新たな雇用が見込まれる分野への人材移転の推進」、筑豊地域では「若者の就職支援」や「低所得者、失業者に対する生活・就業支援の充実」、「希望者の正規雇用への転換促進や非正規雇用の処遇改善」が他地域と比較して高くなっています。

雇用対策



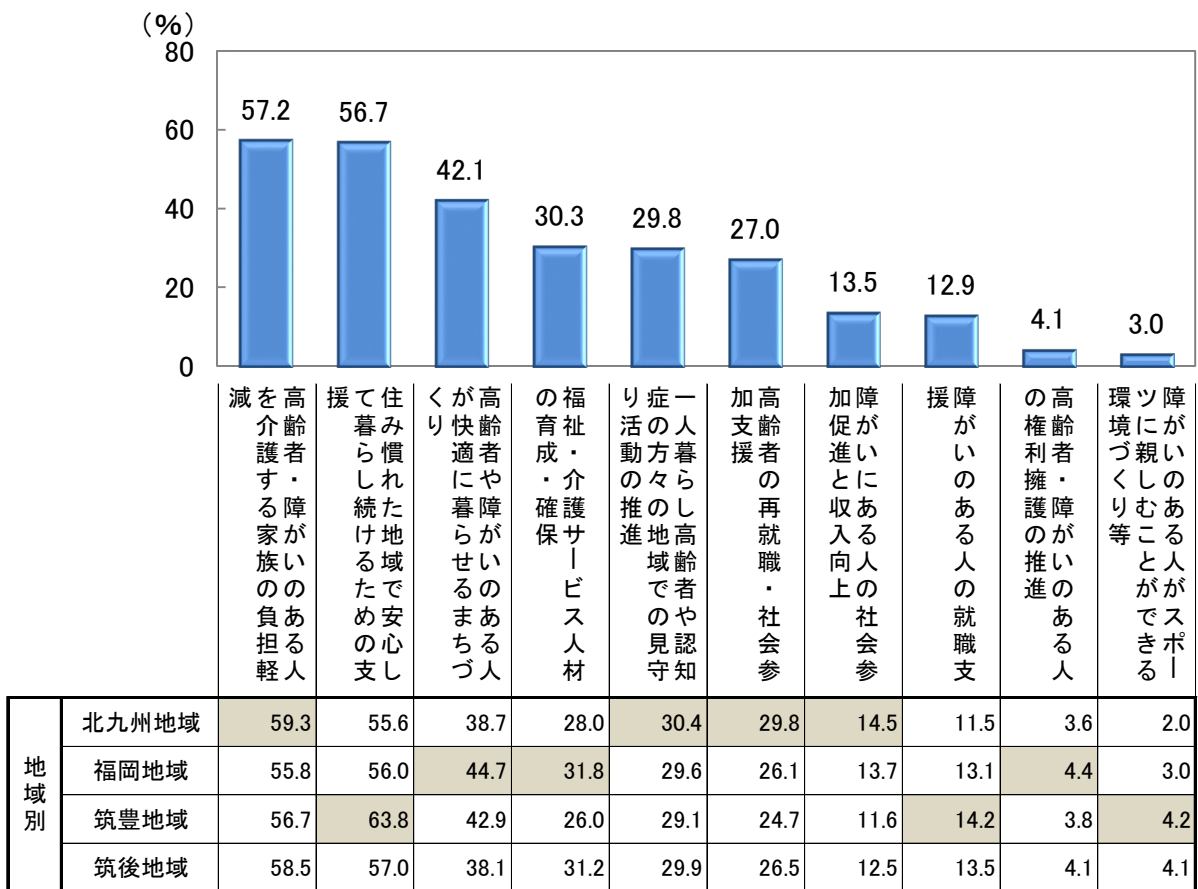
■は4地域中で最も高い値の地域

(4) 高齢者・障がいのある人

県全体では「高齢者・障がいのある人を介護する家族の負担軽減」(57.2%)が最も多く、次いで、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援」(56.7%)、「高齢者や障がいのある人が快適に暮らせるまちづくり」(42.1%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「高齢者の再就職・社会参加支援」、福岡地域では「高齢者や障がいのある人が快適に暮らせるまちづくり」、筑豊地域では「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援」が他地域と比較して高くなっています。

高齢者・障がいのある人



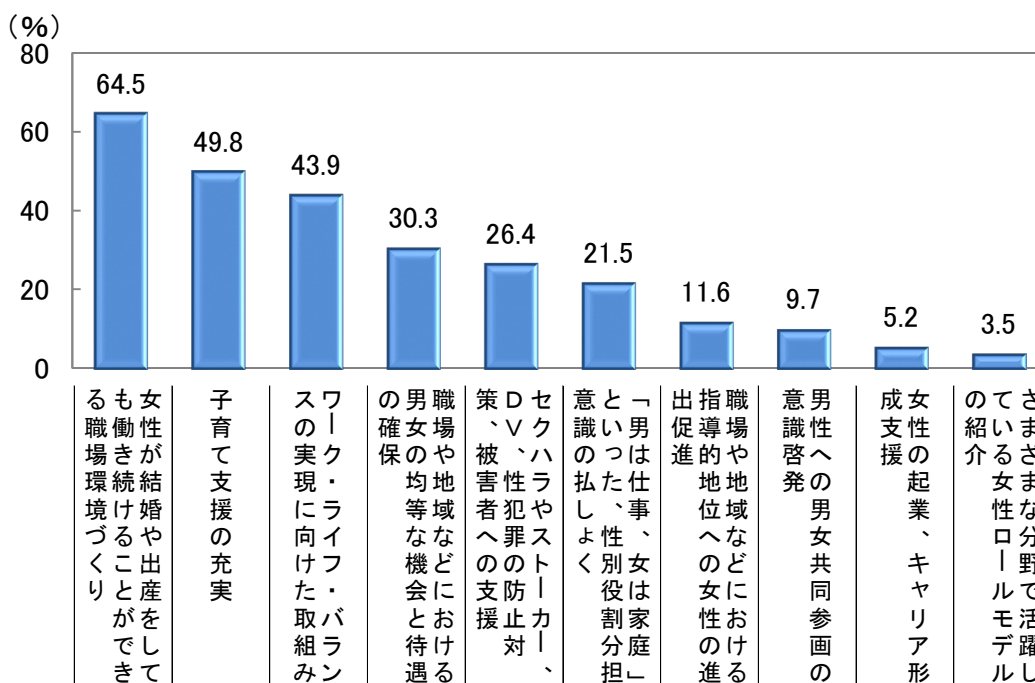
■は4地域中で最も高い値の地域

(5) 女性

県全体では「女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場環境づくり」(64.5%)が最も多く、次いで、「子育て支援の充実」(49.8%)、「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み」(43.9%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み」、福岡地域では「女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場環境づくり」、筑後地域では「セクハラやストーカー、DV、性犯罪の防止対策、被害者への支援」が他地域と比較して高くなっています。

女 性



地域別	女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場環境づくり	子育て支援の充実	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み	職場や地域などにおいて男女の均等な機会と待遇の確保	DV、被害者への支援	セクハラやストーカー、性犯罪の防止対策	意識の払拭、性別役割分担意識の払拭	男性は仕事、女性は家庭という役割意識の払拭	職場や地域などにおける女性の地位向上	男性への男女共同参画の意識啓発	女性の起業、キャリア形成支援	さまざまな分野で活躍している女性を紹介
北九州地域	63.5	50.4	46.4	29.8	25.2	22.0	9.5	9.3	3.8	4.0		
福岡地域	65.8	50.5	42.9	29.6	26.6	20.9	12.2	9.8	6.1	3.1		
筑豊地域	64.0	49.3	44.4	32.4	24.9	21.3	12.0	8.4	3.6	2.9		
筑後地域	62.1	46.5	42.8	32.3	28.0	22.6	12.7	10.5	5.4	4.3		

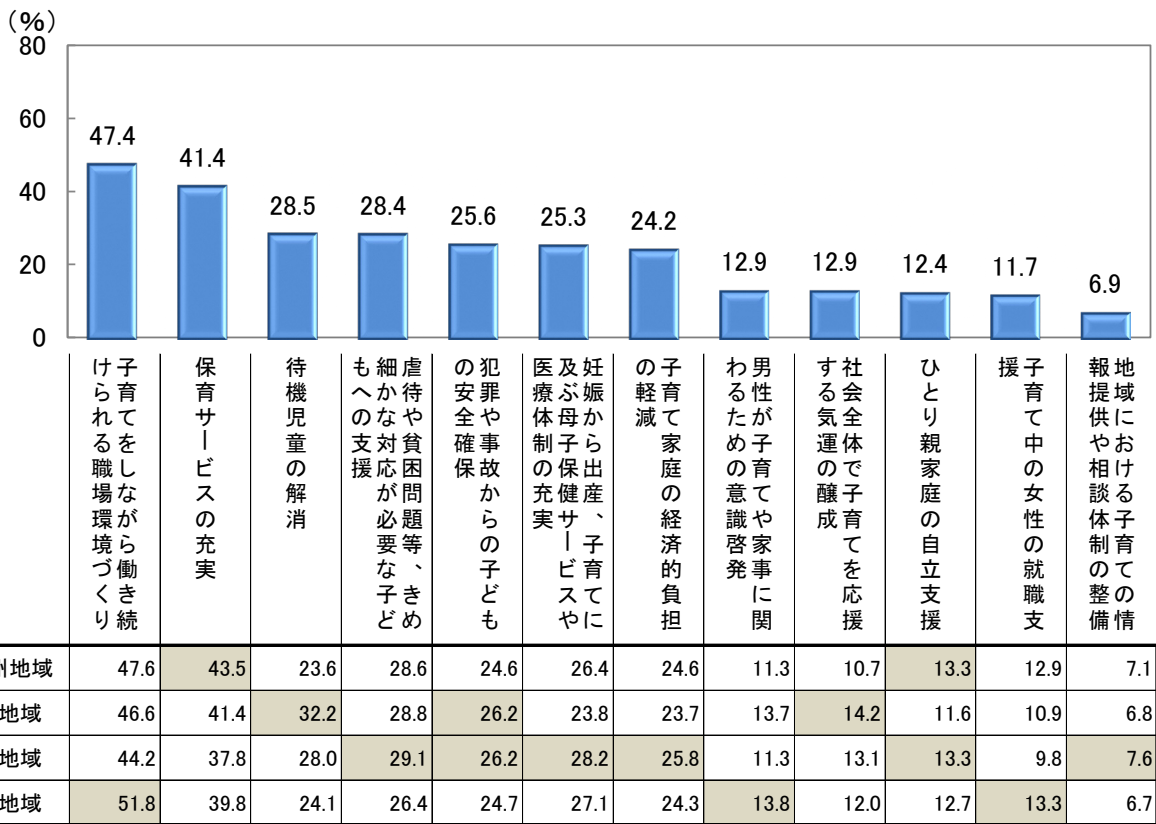
■は4地域中で最も高い値の地域

(6) 子育て支援

県全体では「子育てをしながら働き続けられる職場環境づくり」(47.4%)が最も多く、次いで、「保育サービスの充実」(41.4%)、「待機児童の解消」(28.5%)、「虐待や貧困問題等、きめ細かな対応が必要な子どもへの支援」(28.4%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「保育サービスの充実」、福岡地域では「待機児童の解消」、筑豊地域では「妊娠から出産、子育てに及ぶ母子保健サービスや医療体制の充実」、筑後地域では「子育てをしながら働き続けられる職場環境づくり」が他地域と比較して高くなっています。

子育て支援



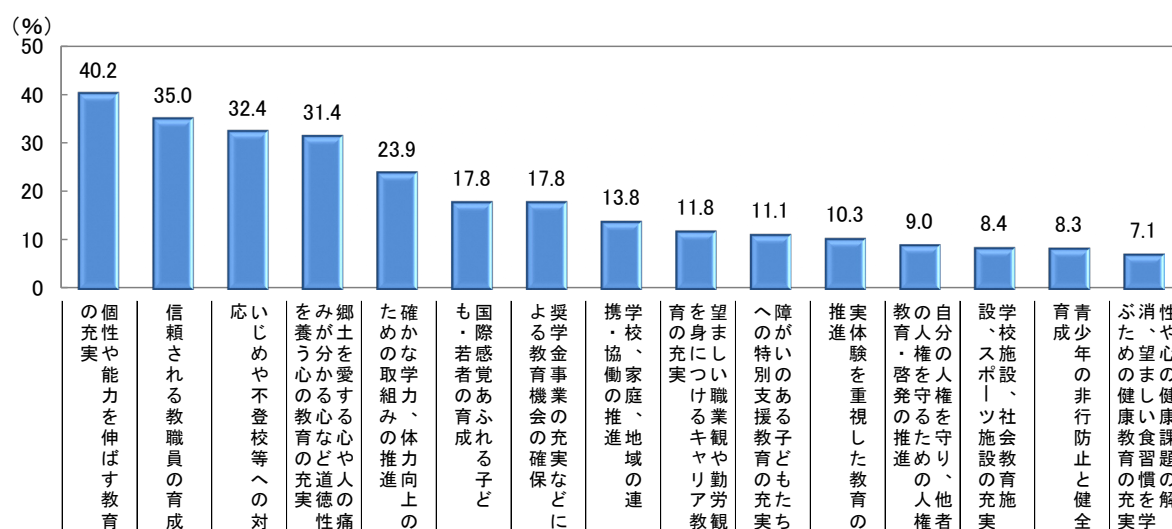
■は4地域中で最も高い値の地域

(7) 教育

県全体では「個性や能力を伸ばす教育の充実」(40.2%)が最も多く、次いで、「信頼される教職員の育成」(35.0%)、「いじめや不登校等への対応」(32.4%)、「郷土を愛する心や人の痛みが分かる心など道徳性を養う心の教育の充実」(31.4%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「望ましい職業観や勤労観を身につけるキャリア教育の充実」、福岡地域では「国際感覚あふれる子ども・若者の育成」や「郷土を愛する心や人の痛みが分かる心など道徳性を養う心の教育の充実」、筑豊地域では「個性や能力を伸ばす教育の充実」が他地域と比較して高くなっています。

教 育



地域別	個性や能力を伸ばす教育の充実	信頼される教職員の育成	いじめや不登校等への対応	郷土を愛する心や人の痛みが分かる心など道徳性を養う心の教育の充実	確かな学力、体力向上のための取組みの推進	国際感覚あふれる子ども・若者の育成	奨学金事業の充実などによる教育機会の確保	学校・協働の推進	望ましい職業観や勤労観を身につけるキャリア教育の充実	障がいのある子どもたちへの特別支援教育の充実	実践を重視した教育の推進	教育・啓発の推進	学校施設、社会教育施設等の充実	青少年の非行防止と健全育成	消費や心の健康課題の解決のための健康教育の充実
北九州地域	38.3	33.7	34.1	29.2	23.6	15.5	16.9	10.3	13.7	11.7	11.5	8.3	9.7	10.9	7.5
福岡地域	40.3	34.9	31.1	33.1	22.9	20.1	18.3	14.6	11.6	10.4	10.0	10.0	8.3	6.7	7.9
筑豊地域	43.1	38.0	32.4	28.0	27.3	14.4	17.8	16.7	9.8	12.0	10.0	8.0	7.8	7.8	4.0
筑後地域	41.1	35.7	34.4	31.2	26.0	15.3	17.6	15.5	10.5	12.0	9.3	7.3	6.7	10.1	5.4

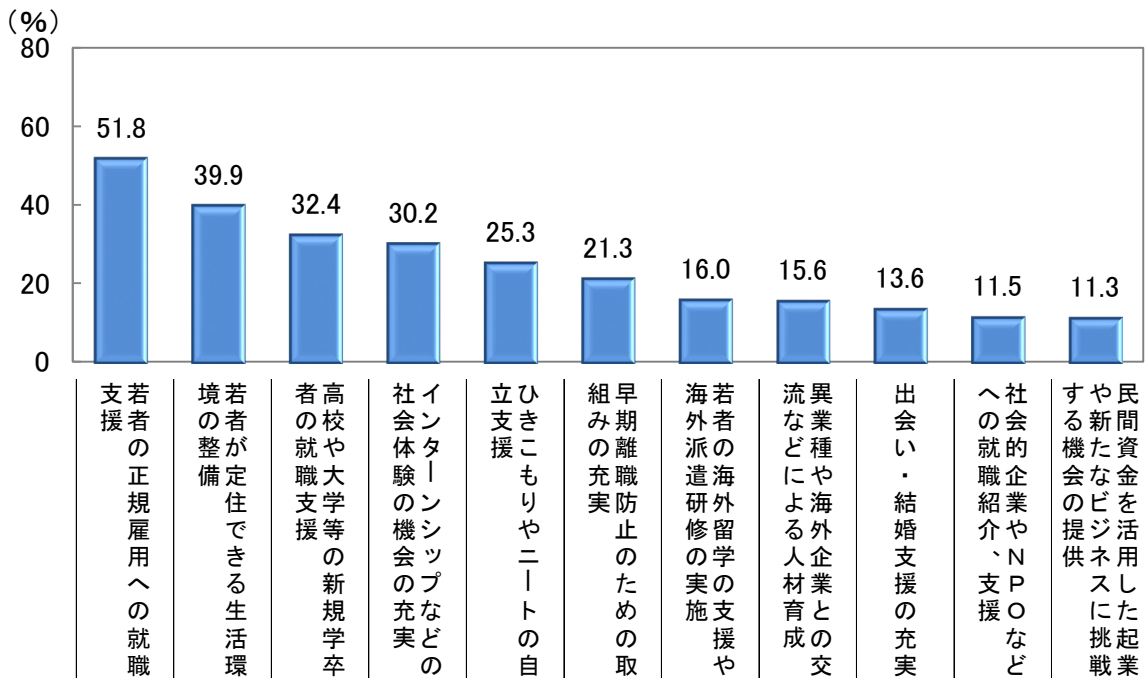
■は4地域中で最も高い値の地域

(8) 若者

県全体では「若者の正規雇用への就職支援」(51.8%)が最も多く、次いで、「若者が定住できる生活環境の整備」(39.9%)、「高校や大学等の新規学卒者の就職支援」(32.4%)、「インターンシップなどの社会体験の機会の充実」(30.2%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「若者の海外留学の支援や海外派遣研修の実施」や「異業種や海外企業との交流などによる人材育成」「社会的企業やNPOなどへの就職紹介、支援」、筑豊地域では「若者が定住できる生活環境の整備」が他地域と比較して高くなっています。

若 者



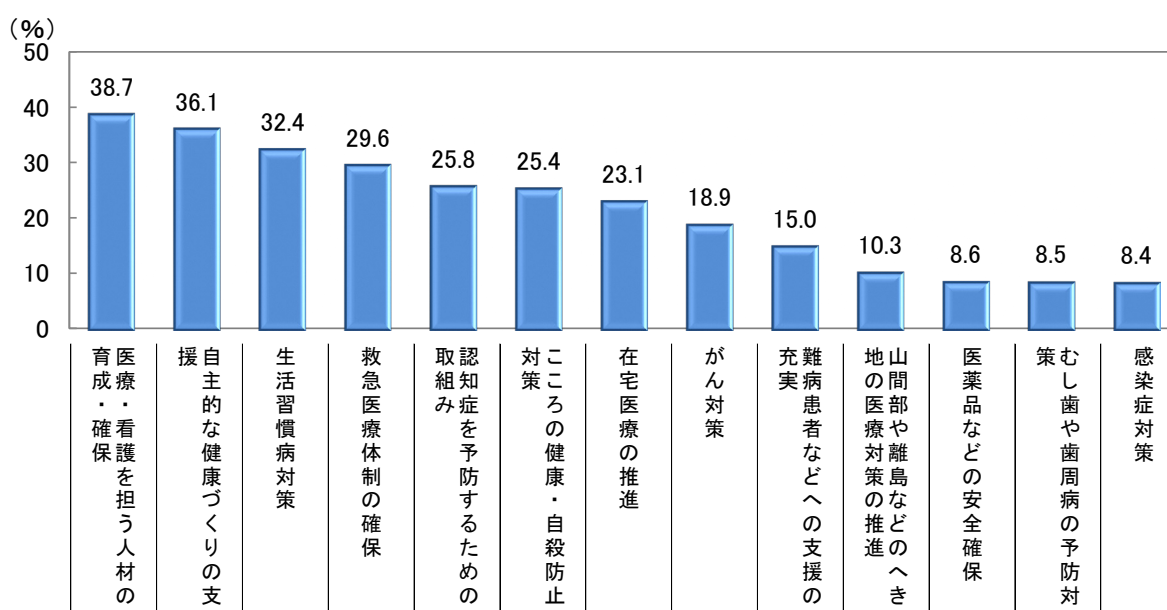
■は4地域中で最も高い値の地域

(9) 保健・医療

県全体では「医療・看護を担う人材の育成・確保」(38.7%)が最も多く、次いで、「自主的な健康づくりの支援」(36.1%)、「生活習慣病対策」(32.4%)、「救急医療体制の確保」(29.6%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「こころの健康・自殺防止対策」、福岡地域では「認知症を予防するための取組み」、筑豊地域では「山間部や離島などのへき地の医療対策の推進」、筑後地域では「生活習慣病対策」が他地域と比較して高くなっています。

保健・医療



地域別	割合 (%)															
	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域	医療・看護を担う人材の育成・確保	自主的な健康づくりの支援	生活習慣病対策	救急医療体制の確保	認知症を予防するための取組み	こころの健康・自殺防止対策	在宅医療の推進	がん対策	難病患者などへの支援の充実	山間部や離島などのへき地の医療対策の推進	医薬品などの安全確保	むし菌や菌周病の予防対策
北九州地域	39.9	32.3	33.1	36.5	22.8	29.0	17.3	19.4	15.5	8.3	9.7	6.7	9.3			
福岡地域	38.8	37.9	31.8	27.2	28.3	23.1	25.7	19.2	13.9	11.3	8.7	9.6	8.1			
筑豊地域	35.1	33.8	27.3	35.3	25.1	26.9	22.7	19.1	16.7	13.8	7.6	7.3	6.4			
筑後地域	38.1	37.6	35.7	24.1	22.4	26.5	23.7	17.2	16.8	8.4	7.3	8.6	8.6			

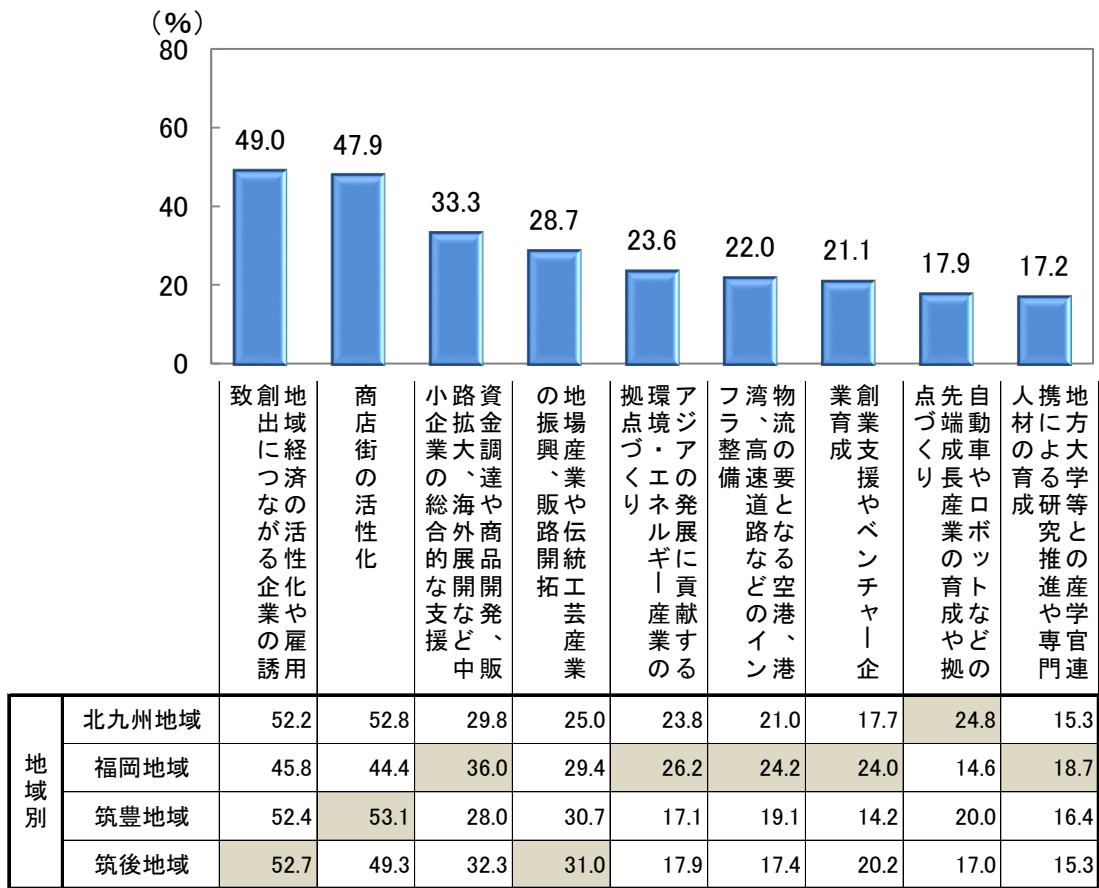
■は4地域中で最も高い値の地域

(10) 商工業の振興

県全体では「地域経済の活性化や雇用創出につながる企業の誘致」(49.0%)が最も多く、次いで、「商店街の活性化」(47.9%)、「資金調達や商品開発、販路拡大、海外展開など中小企業の総合的な支援」(33.3%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「自動車やロボットなどの先端成長産業の育成や拠点づくり」、福岡地域では「資金調達や商品開発、販路拡大、海外展開など中小企業の総合的な支援」や「物流の要となる空港、港湾、高速道路などのインフラ整備」「創業支援やベンチャー企業育成」が他地域と比較して高くなっています。

商工業の振興



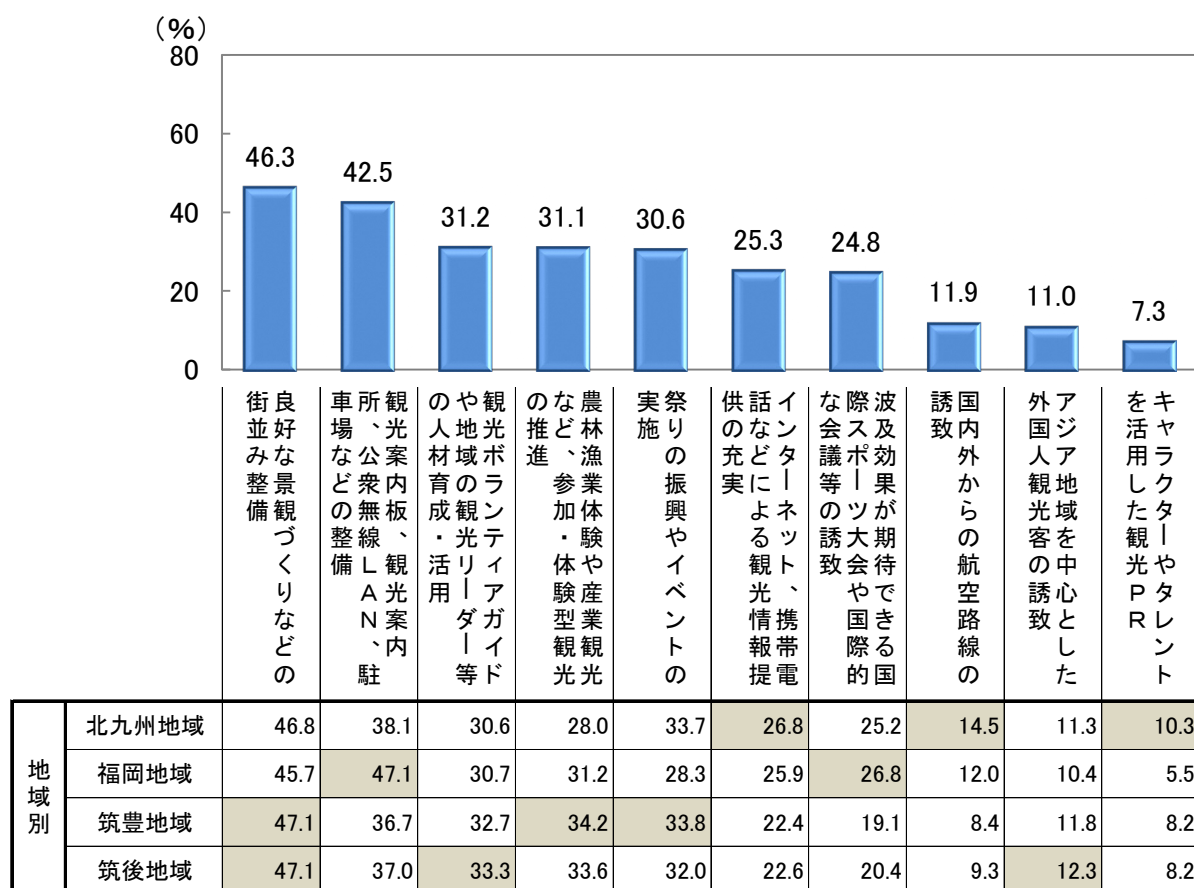
■は4地域中で最も高い値の地域

(11) 観光振興

県全体では「良好な景観づくりなどの街並み整備」(46.3%)が最も多く、次いで、「観光案内板、観光案内所、公衆無線LAN、駐車場などの整備」(42.5%)、「観光ボランティアガイドや地域の観光リーダー等の人材育成・活用」(31.2%)、「農林漁業体験や産業観光など、参加・体験型観光の推進」(31.1%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「国内外からの航空路線の誘致」や「キャラクターやタレントを活用した観光PR」、福岡地域では「観光案内板、観光案内所、公衆無線LAN、駐車場などの整備」や「波及効果が期待できる国際スポーツ大会や国際的な会議等の誘致」が他地域と比較して高くなっています。

観光振興



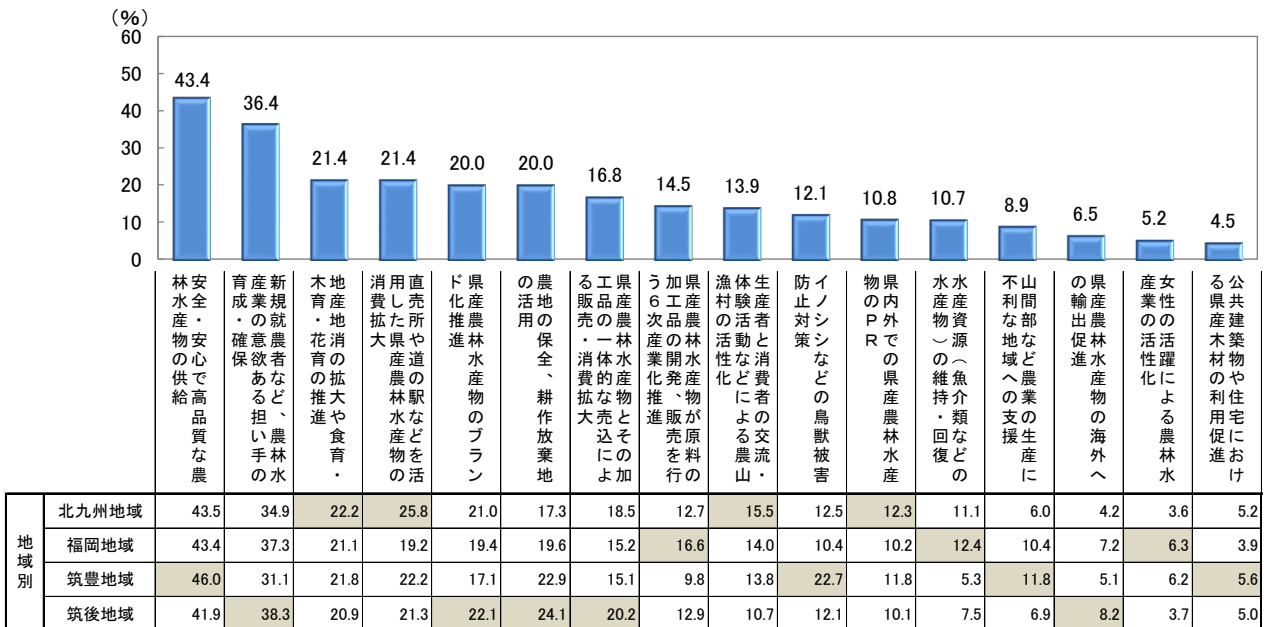
■は4地域中で最も高い値の地域

(12) 農林水産振興

県全体では「安全・安心で高品質な農林水産物の供給」(43.4%)が最も多く、次いで、「新規就農者など、農林水産業の意欲ある担い手の育成・確保」(36.4%)、「地産地消の拡大や食育・木育・花育の推進」「直売所や道の駅などを活用した県産農林水産物の消費拡大」(ともに21.4%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「直売所や道の駅などを活用した県産農林水産物の消費拡大」、福岡地域では「県産農林水産物が原料の加工品の開発、販売を行う6次産業化推進」、筑豊地域では「安全・安心で高品質な農林水産物の供給」や「イノシシなどの鳥獣被害防止対策」が他地域と比較して高くなっています。

農林水産振興



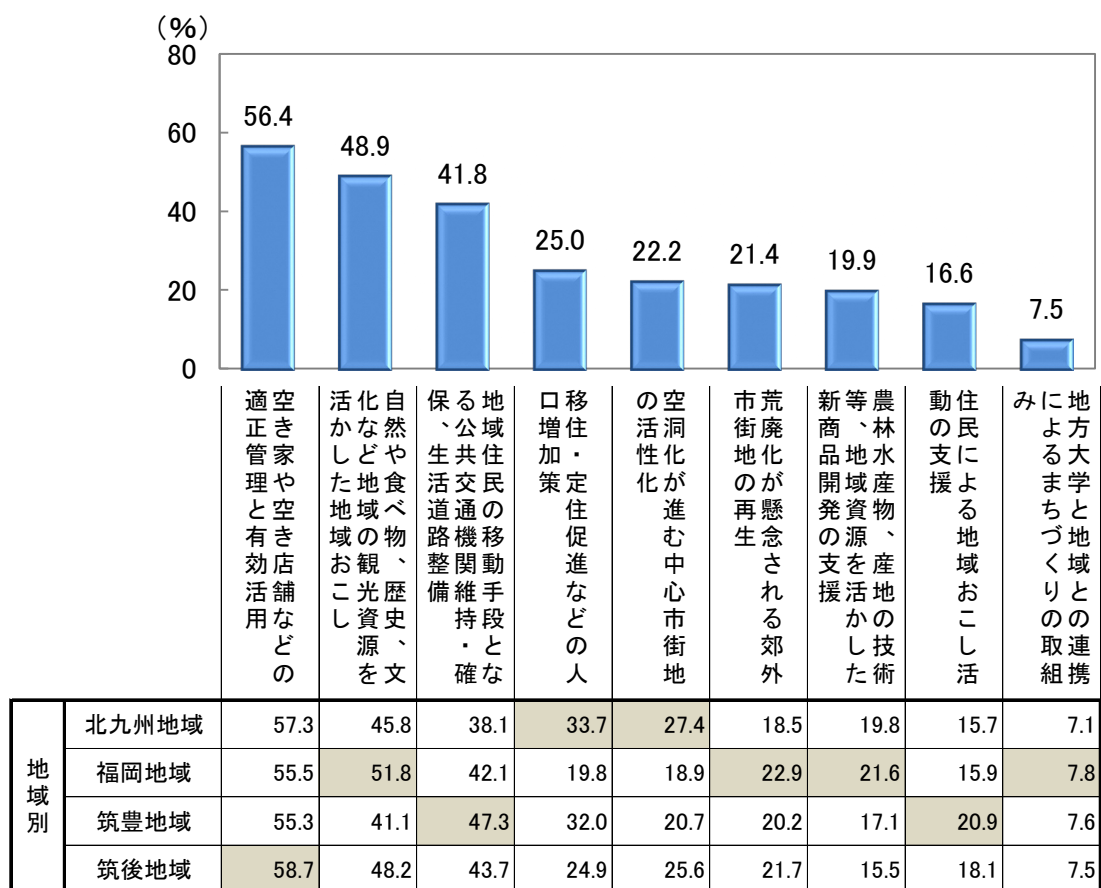
■は4地域中で最も高い値の地域

(13) 地域振興

県全体では「空き家や空き店舗などの適正管理と有効活用」(56.4%)が最も多く、次いで、「自然や食べ物、歴史、文化など地域の観光資源を活かした地域おこし」(48.9%)、「地域住民の移動手段となる公共交通機関維持・確保、生活道路整備」(41.8%)の順となっています。

地域別にみると、北九州市では「空洞化が進む中心市街地の活性化」、福岡地域では「自然や食べ物、歴史、文化など地域の観光資源を活かした地域おこし」、筑豊地域では「地域住民の移動手段となる公共交通機関維持・確保、生活道路整備」や「住民による地域おこし活動の支援」が他地域と比較して高くなっています。

地域振興



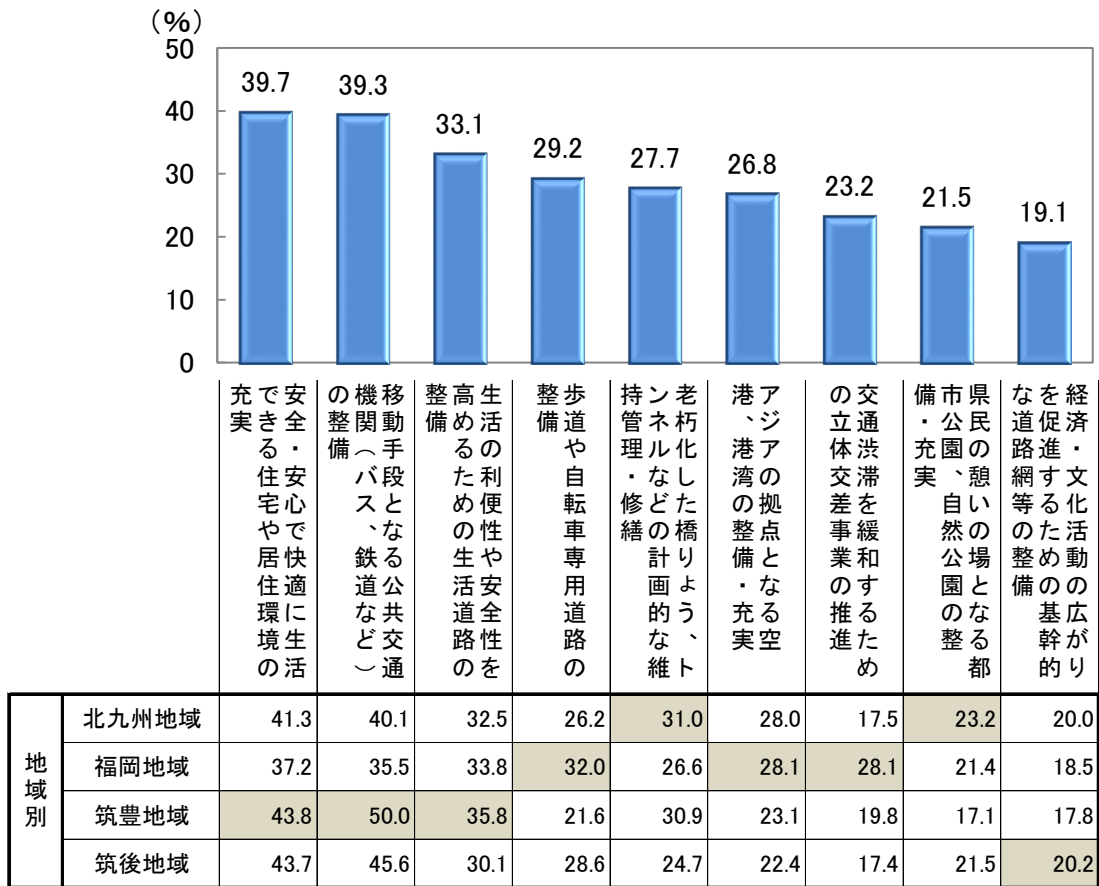
■ は4地域中で最も高い値の地域

(14) インフラ・社会基盤整備

県全体では「安全・安心で快適に生活できる住宅や居住環境の充実」(39.7%)が最も多く、次いで、「移動手段となる公共交通機関(バス、鉄道など)の整備」(39.3%)、「生活の利便性や安全性を高めるための生活道路の整備」(33.1%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「歩道や自転車専用道路の整備」や「交通渋滞を緩和するための立体交差事業の推進」、筑豊地域では「移動手段となる公共交通機関(バス、鉄道など)の整備」や「生活の利便性や安全性を高めるための生活道路の整備」が他地域と比較して高くなっています。

インフラ・社会基盤整備



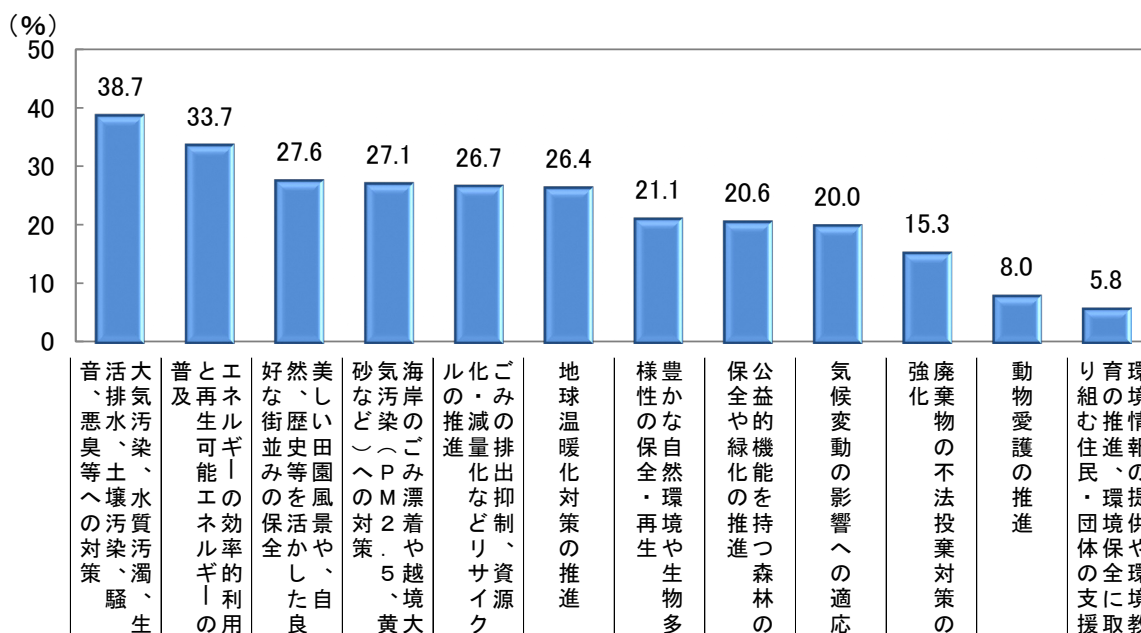
■は4地域中で最も高い値の地域

(15) 環境

県全体では「大気汚染、水質汚濁、生活排水、土壌汚染、騒音、悪臭等への対策」(38.7%)が最も多く、次いで、「エネルギーの効率的利用と再生可能エネルギーの普及」(33.7%)、「美しい田園風景や、自然、歴史等を活かした良好な街並みの保全」(27.6%)、「海岸のごみ漂着や越境大気汚染(PM2.5、黄砂など)への対策」(27.1%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「動物愛護の推進」、筑豊地域では「地球温暖化対策の推進」や「廃棄物の不法投棄対策の強化」、筑後地域では「美しい田園風景や、自然、歴史等を活かした良好な街並みの保全」が他地域と比較して高くなっています。

環 境



地域別	音、悪臭等への対策	大気汚染、水質汚濁、生活排水、土壌汚染、騒音	美しい田園風景や、自然、歴史等を活かした良好な街並みの保全	海岸のごみ漂着や越境大気汚染(PM2.5、黄砂など)への対策	ごみの排出抑制、資源リサイクルの推進	地球温暖化対策の推進	豊かな自然環境や生物多様性の保全・再生	公益的機能を持つ森林の保全や緑化の推進	気候変動の影響への適応	廃棄物の不法投棄対策の強化	動物愛護の推進	環境情報の提供や環境教育の推進、住民・団体への支援
北九州地域	40.1	33.9	24.2	30.2	28.4	26.6	21.0	17.3	16.9	17.9	10.5	4.6
福岡地域	38.8	35.5	27.4	29.0	24.6	25.9	20.7	22.2	21.1	11.5	7.2	5.5
筑豊地域	39.1	29.8	28.4	18.0	30.2	28.4	22.2	20.7	19.3	22.9	8.2	7.1
筑後地域	35.7	29.7	33.3	20.6	29.0	26.7	21.9	20.2	21.3	20.2	6.5	7.7

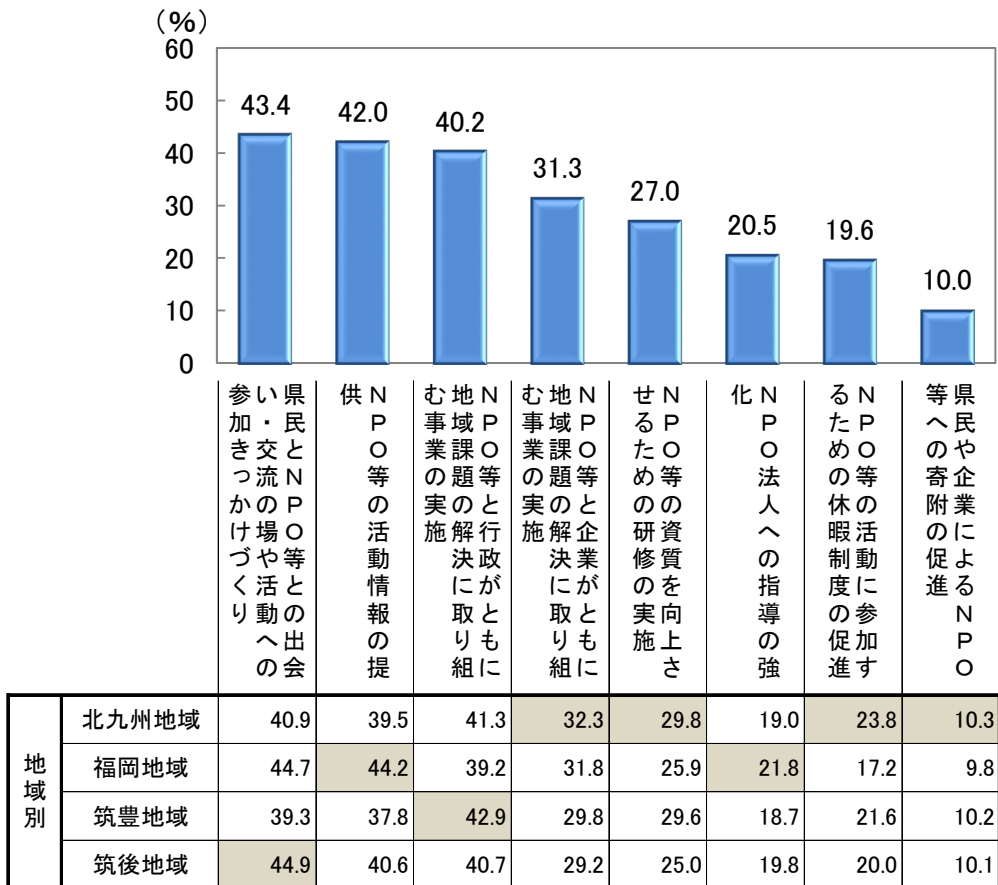
■は4地域中で最も高い値の地域

(16) NPO・ボランティア

県全体では「県民とNPO等との出会い・交流の場や活動への参加きっかけづくり」(43.4%)が最も多く、次いで、「NPO等の活動情報の提供」(42.0%)、「NPO等と行政がともに地域課題の解決に取り組む事業の実施」(40.2%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「NPO等の活動に参加するための休暇制度の促進」、福岡地域では「NPO等の活動情報の提供」や「NPO法人への指導の強化」、筑豊地域では「NPO等と行政がともに地域課題の解決に取り組む事業の実施」が他地域と比較して高くなっています。

NPO・ボランティア



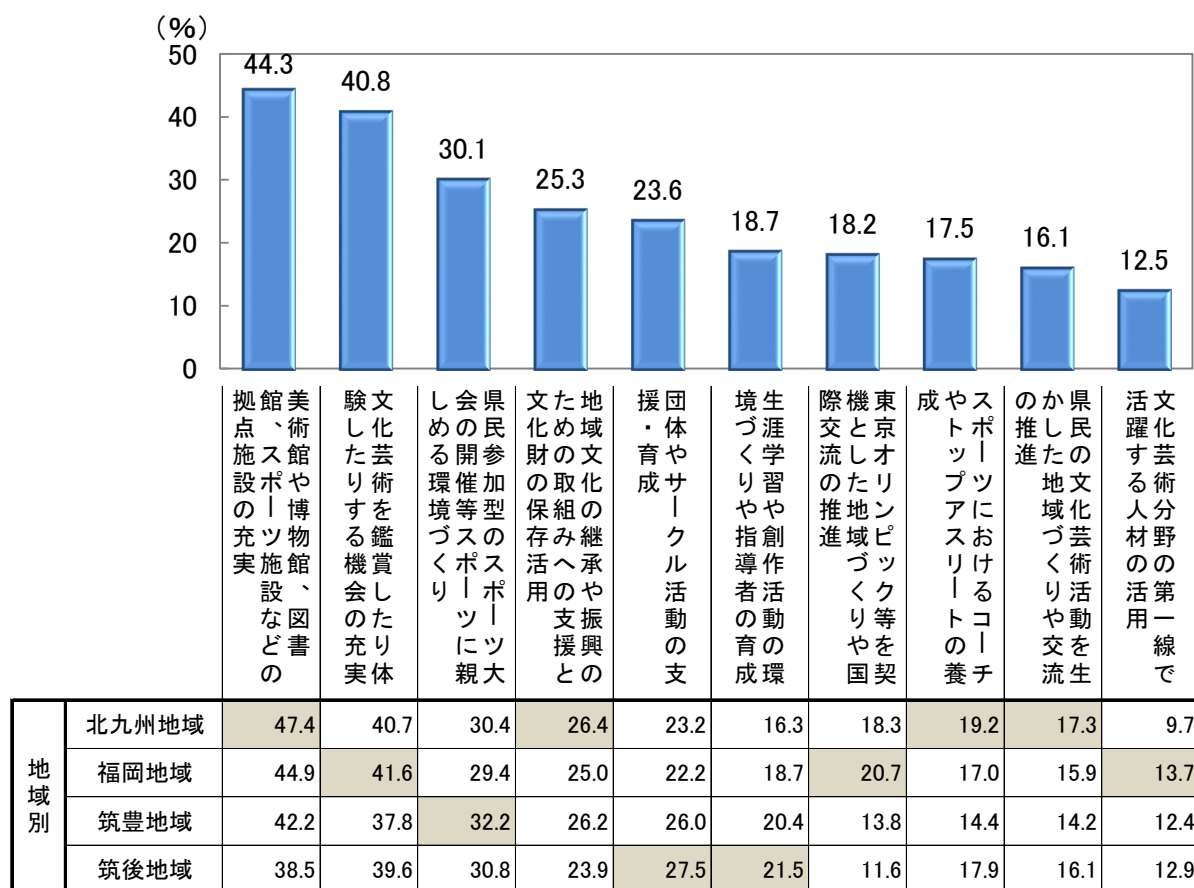
■は4地域中で最も高い値の地域

(17) 文化・スポーツ

県全体では「美術館や博物館、図書館、スポーツ施設などの拠点施設の充実」(44.3%)が最も多く、次いで、「文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会の充実」(40.8%)、「県民参加型のスポーツ大会の開催等スポーツに親しめる環境づくり」(30.1%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「美術館や博物館、図書館、スポーツ施設などの拠点施設の充実」、福岡地域では「東京オリンピック等を契機とした地域づくりや国際交流の推進」、筑豊地域では「県民参加型のスポーツ大会の開催等スポーツに親しめる環境づくり」、筑後地域では「団体やサークル活動の支援・育成」が他地域と比較して高くなっています。

文化・スポーツ



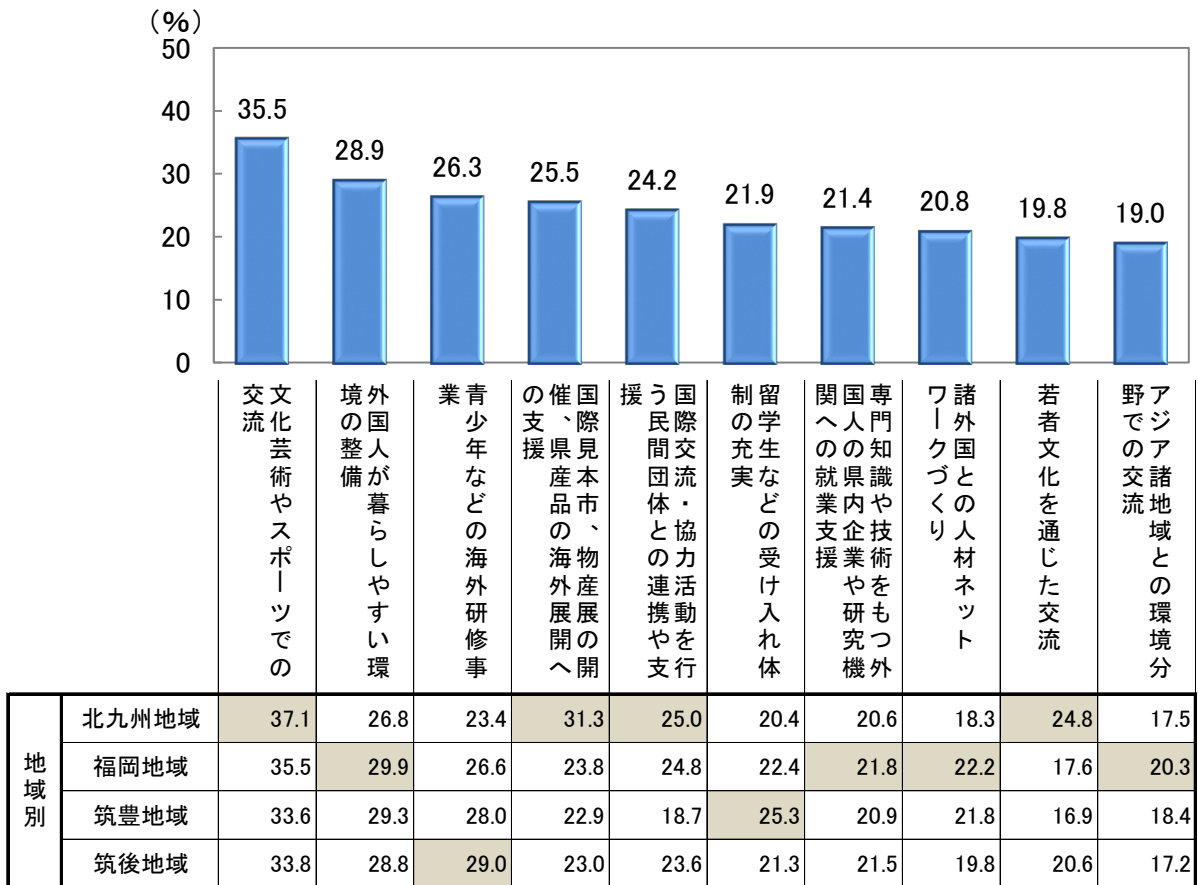
■は4地域中で最も高い値の地域

(18) 国際交流

県全体では「文化芸術やスポーツでの交流」(35.5%)が最も多く、次いで、「外国人が暮らしやすい環境の整備」(28.9%)、「青少年などの海外研修事業」(26.3%)、「国際見本市、物産展の開催、県産品の海外展開への支援」(25.5%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「国際見本市、物産展の開催、県産品の海外展開への支援」や「若者文化を通じた交流」、福岡地域では「アジア諸地域との環境分野での交流」、筑豊地域では「留学生などの受け入れ体制の充実」が他地域と比較して高くなっています。

国際交流



■は4地域中で最も高い値の地域

3. 自由意見

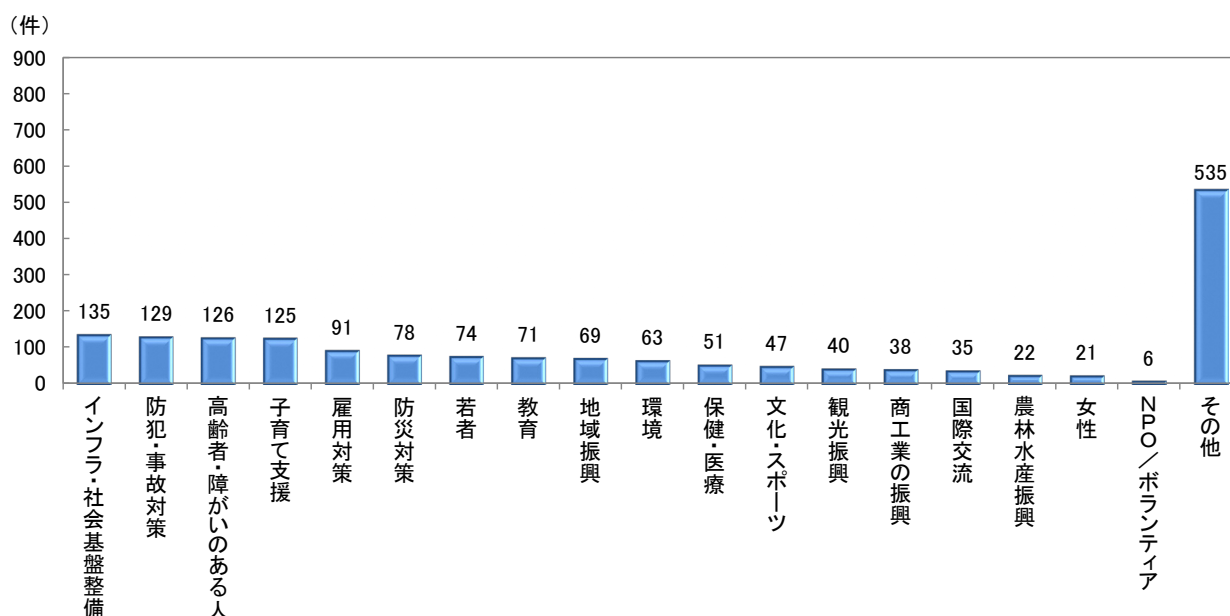
福岡県に期待することや思い描く将来の福岡県の姿について自由に回答してもらったところ、1,065 人の方から、1,756 件のご意見が寄せられました。

その内容を分野ごとに分類すると、「インフラ・社会基盤整備」、「防犯・事故対策」、「高齢者・障がいのある人」、「子育て支援」などに関する意見が多く、それ以外にも多岐にわたって幅広く意見をいただきました。

また、どの分野にも該当しない「その他」では、「安全安心・平和・思いやり」、「生活保護・低所得者支援・貧困対策などの弱者対策」、「行財政」、「家族・地域との繋がり・絆」、といった内容について、多くの意見が寄せられました。

以下に、分類した意見の数と、主な内容の一部をご紹介します。

自由意見（福岡県に期待すること、思い描く将来の福岡県の姿）



○インフラ・社会基盤整備

- ・私の家は築城基地のすぐ近くで家を建てて 20 年位になります。防音工事してもらえず騒音がすごいです。防音工事の継続をお願いします。
- ・子供達が元気におもいきり遊べる公園が欲しい。
- ・車の乗れなくなった人のためにコミュニティバスを増やすべきです。
- ・交通（鉄道等）で不採算部門の廃止の検討。
- ・アジアの玄関として中国やフィリピン、ベトナムなどの国々を結ぶ都市として成長してほしい。
- ・市街地の住宅再生化（築 30 年以上のアpartマンション等はリフォーム・リノベーション・建て直しを行い、空き地や家を有効活用する）。
- ・市内だけではなく地方の方まで目を向けて、交通機関の整備であつたり、活性化にもっと力を入れて欲しい。
- ・可能な限りのバリアフリー環境。
- ・少し田舎に行くと下水道の設備がない為、田舎暮らしをしたいと思うのだけど残念に思う。
- ・都市部に人口が集中し、田舎は過疎化、高齢化が進んでいるので、田舎でも、若い人が定住出来るよう通勤の為の交通網の整備や田舎の活性化を考えてほしい。

- ・車社会の現在において、高齢者の免許の返納が進まず、事故が多発しているが、地方においては公共交通機関もなく、車が必要な現実もある。これに対し何らかの対策を立て実行し、効果を上げて欲しい。
- ・交通渋滞緩和対策。公共交通機関の充実。

○防犯・事故対策

- ・高齢化が進み、私の住んでいる所は空家も増えています。事故・犯罪防止の為に空家の有効活用をして欲しいです。
- ・国際化は大歓迎だが、安全を保ちながら進んでほしい。
- ・飲酒運転が他県に比べても、まだまだ多いと思う。県民自身の意識改革が必要だと思う。
- ・暴力団徹底排除。
- ・危険な自転車運転を多く目にするので、歩道や自転車専用道路の整備をしていただきたいです。
- ・犯罪のない地域社会で、安心、安全な生活がしたい。
- ・飲酒運転、薬物の根絶。
- ・防犯の点から防犯カメラの設置等、インフラ面の整備。
- ・治安が一番だと思います。夜、安心して歩く事が出来る為の外灯や防犯カメラ、パトロールの強化。
- ・子供の虐待・性犯罪のない県。
- ・福岡県は治安が悪いと言われているため、他県民から怖いと思われがち。治安の悪いイメージ払拭してほしい。
- ・交通安全で犯罪が全国一少なくなること。

○高齢者・障がいのある人

- ・高齢者の方が更に増えていくにあたって介護従事者が圧倒的に不足していると思われます。若者が就職先の一つとしてインターンなど行ったらいかがでしょう（賃金的な問題もあります）。
- ・障がい者がA型・B型施設で、不当な扱いを受けることがないように代表者等の研修、施設の情報把握。
- ・障がい者医療の充実。
- ・高齢者に対しては健康寿命の促進になるような施策をしてほしい。
- ・高齢者の医療保険、介護保険の負担金の軽減。
- ・介護者（老々介護）を支援して欲しい。
- ・各地の孤立した高齢者にもっと手厚いフォローを。
- ・高齢者が若い人達に負けない再就職の社会支援の促進。
- ・弱い立場の人（障がい者、高齢者等）が笑顔でいられることが大切だと思う。特に障がい児を子供に持つ親は、親亡き後の子供の生活が不安であると感じている人が多いと思う。
- ・高齢者の雇用。一人暮らしの高齢者への住居斡旋（保証人がいない人など）。
- ・私は病気で障がいになった主人を一人で介護しています。収入も年金だけで身体的にも辛いので本人はもとより介護している家族の事も考えてもらえたらと思います。
- ・障がい者が一人でも生活しやすい労働支援、生活支援を推進し、高齢者にも優しい県全体のバリアフリー化。

○子育て支援

- ・子ども食堂の支援。
- ・将来を担う子供たちが健やかに成長すること。特に虐待、貧困を無くして欲しいです。
- ・子どもの医療費軽減年齢の拡充。
- ・子育て世代をもっと応援してほしい。子供を望むだけ産める環境づくり（いずれ人口増加（労働増加）につなげてほしい）。
- ・子育て世代が安心できる地域の支援や保育の充実。
- ・保育所の充実。
- ・1人親家庭でも安心して働き、子育てができる仕組み。
- ・子供を育てるにあたって、相談が出来る場所を充実させて欲しい。相談が出来る場所があっても相談したいと思える人がいない。
- ・子供の虐待、ネグレクト等防止の為の支援等。孤食（子供の）の予防等の支援。子供の貧困化の予防等の支援の充実。
- ・地方の子育て支援の制度を充実させ、地方に人が集まるような制度がほしい。
- ・子育て中ですが、医療費や授業料の補助などが拡充するとありがたいです。子供を産む人も増加するのではと思います。
- ・子育てをしやすい環境を整え、少子化対策に力を入れて問題を解決出来るようにして欲しい。（保育園待機児童問題、保育料補助・無料化、学童保育高学年対象）。

○雇用対策

- ・正規雇用の促進。
- ・就職支援の充実・各企業の契約社員から正社員への待遇改善。
- ・セクハラやパワハラの根絶。
- ・老後の生活に不安があります。中高年の仕事や賃金をもっと充実させてほしいです。
- ・在宅ワークの評価・推進の支援。
- ・福岡限定の総合職を増やしてほしい。地域密着型の企業が新卒採用を行うようにしてほしい。
- ・正社員の雇用がたくさん増えて欲しい。若い人が働きたいと思う仕事の選択肢が増えて欲しい。
- ・地域で安心して働ける職場の確保、充実。
- ・若者の就職支援。地方にも就職して、家族を養っていけるような会社をたくさん作る。
- ・収入の安定と勤務時間の短縮。
- ・福利厚生の充実。
- ・県内で正規社員として就労でき、安定した生活が確保できるようになりたい。

○防災対策

- ・町内活動が全くない。災害の時の連携等が心配。町内会に入らない人がとても増えた。町内の人達を集めて市の専用の方が各町内を回って具体的に指導する等してほしい。
- ・災害に対する対応日本一を望みます。
- ・台風、地震などの災害が起きた時に1時間でも早く、1日でも早く復旧がどの県よりも1番となるよう努力してほしい
- ・災害による被害を一日でも早く対処し、土砂災害や河の治水・治山対策をしてほしい。
- ・極力、自然災害が少ない県にして欲しい。その為の研究と対策。
- ・自然災害に伴う避難者の救援体制（数年先迄見越した生活基盤の充実）。
- ・災害に強い県。
- ・自然災害（地震、大雨）が最近は多く、これからもいつ、どこで自然災害が起こるかも知れない為、災害時の避難場所や食料や水の確保など、災害対策をしっかりとってほしい。

○若者

- ・若い人の給料を上げ結婚したくなる環境。
- ・若者の生活住居の提供（結婚後の生活支援）。
- ・学校は他のところでも、生まれ育った福岡に子供たちが戻ってこられるような受け皿を作ってください。
- ・若者が活気づく街づくり、環境の整備を進めてほしい。
- ・若い人達が将来を描けるような安定した働き方が出来る社会、県を作ってほしい。若い人達が元気であれば皆も元気をもらえていると思っています。
- ・ひきこもり、ニートの自立支援に力を入れてほしい。
- ・若い人の結婚しない方が多く、出産が減り、団塊時代の占める割合が多くなっています。若い方の出会い結婚への支援にも力を入れて勧めて欲しいものです。
- ・若い人が就職し家庭を築いてゆくのが楽しくなる様な県にして欲しい。

○教育

- ・子供達に早いうちから将来の仕事について意識させる為色々な職場体験や色々な仕事の紹介をするような機会を作ることに力を入れて欲しいです。
- ・義務教育の学校で人権教育の充実をもっと進めてほしい。将来子どもたちが社会に出て差別に乗りこえられるよう人権教育が基盤で、その上に基礎学力、学びあい人と人とのつながりが育まれ力となると思うから。
- ・子どもたちの教育機会の均等を。
- ・高校の義務教育化。
- ・中学生・高校生の留学制度促進（海外からの受入交流制度も含む）。
- ・子どもたち（義務教育）の給食費、修学旅行費などの補助があれば助かるのではないか。
- ・子供の頃から地域に根づく教育。
- ・高校、大学へ行く奨学金制度の見直し。
- ・教職員の充実。道徳、モラルを躰ができない家庭が多い中、それを教えられる教育制度の確立。
- ・元気な時に外の体験をして知識を高めたい。
- ・勉学、スポーツは学校で行うには教師の業務負担が多くなっている。民間委託、補助拡大で補ってはどうでしょうか

○地域振興

- ・中心地区以外の活性化に力を入れて頂きたいです。
- ・主要都市とそれ以外の場所でバランスよく発展させ、道の駅以外でも人が集まる街づくりを求めます。
- ・空家対策。
- ・地域の特性を活かして、その場所ならではの助成、促進を少しでも実施すること。
- ・都心は、色々と充実していますが、郊外はさびしい感じです。地域活性化に力を入れて欲しいです。
- ・子供の頃に比べると活気に欠ける。車世代の年齢なので運転できれば、どこにでも行くことが出来るが、駅の周辺や街中がさびれてしまったので空店舗の有効活用が出来れば良いのではないか。
- ・空家、学校も含めて有効な活用をし、県民が楽しめる施設を作ってほしい。
- ・活用されていない農地、工場、商店街の活性化。

○環境

- ・自然を壊しての道路はもう不要。
- ・原発に頼らないクリーンエネルギーの普及。
- ・山や川、海を壊さない残された自然を大切に美しい福岡を次世代に残したい。
- ・豊かな自然の中で、ゆっくり生活ができる町になる様にしてもらいたい。
- ・自然環境や生物多様性の保全、再生により、安心、安全な食品の確保、農林水産等、一次産業の支援保護により障がいを持って生まれる新生児をなくすこと、健康であれば幸福を実感出来ると思います。
- ・汚染水やゴミ、空き缶が（山、川、道路）から無くなり、美しい川であり清潔な水になる事を願っています。
- ・今一番大事な事は福岡県、日本というよりもこの地球を大事にする事ではないでしょうか。
- ・自然豊かなコンパクトな都会。

○保健・医療

- ・健康づくりを自分で出来る様にする支援体制づくり。
- ・高度な医療が受けられる場所があること。
- ・県民の食生活の見直し。特に働く世代はお酒を飲む機会が多いので県民一人一人が健康な身体になるように願います。
- ・医療や介護に力を入れてもらい住民一人一人が幸福を実感できるようにしてもらいたい。
- ・医療、福祉などにかかる費用の軽減。
- ・病気（3大病）などかかる人が少なく、元気で長寿の方が多い県。
- ・タバコの害がない県にして欲しい。受動喫煙の被害で多くの人の健康が損なわれている現状をどうにかして欲しい。
- ・健康作りのイベントを行う。

○文化・スポーツ

- ・生涯学習できる社会づくり。
- ・文化、歴史に関するPR、保全活動の推進。
- ・美術館や図書館などの文化施設をもう少し身近なものと感じられるよう、学芸員や司書による外への発信活動を促してほしい。市や県の出前講座の講師としての活動はできないものだろうかと思う。
- ・素晴らしい音楽演奏とかあっても福岡市まででなければ聞くことができない。
- ・現在健康な身体を維持するため夫婦で水泳と筋トレに行っています。若い方達も含め低料金でスポーツが出来る施設を作って欲しいと思っています。
- ・アジアの玄関であるという事を認識して、日本の文化の発信をして日本の伝統文化を世界に国内にも知ってもらおう働きをして欲しい。この国の伝統文化はどの国のものより素晴らしい。その事を県民もよく知るべきである。
- ・スポーツの国際大会で有名な県になってほしい。
- ・県内で開催される伝統芸能に対して、いくらかの金銭的補助を考えて欲しい。

○観光振興

- ・福岡県にしかない娯楽施設が出来るともっと世界中から人が集まると思う。
- ・スペースワールドが閉園してしまったので大型テーマパークの誘致を進めて欲しい。
- ・観光名所を増やしてください。福岡県は少ないと思います。
- ・観光客を呼び込み、経済発展してほしい。
- ・世界各国から福岡に来てもらえる県であります様に交通面や商業、ホテルなどの活性化。
- ・他県の人達が来たくくなる様な、食べ物、観光が多い県になってほしい。
- ・東京に観光土産館に作ってもっと宣伝してほしいと思います。
- ・外国人観光客の取込。

○商工業の振興

- ・新しい企業を誘致し地域活性化をはかる。震災のリスクが少ないことを全国にアピールし、大企業を誘致しましょう。
- ・今住んでいる所は、シャッター商店街です。少しでも昔のようになるように話し合ってください。
- ・中小企業・ベンチャーへの支援。
- ・地元企業の活性化。
- ・百貨店や商業施設により活気がある様に感じる一方で、一時期に比べて商店街、市場等には活気がなくなっているように思います。
- ・物産物などのPR。
- ・アジアを中心に輸出入を増やす。
- ・商店街を手作り品や家庭菜園の野菜やリサイクル品を持ちよって売る店などを作るとさびれた商店街が明るくなると思います。夏は土曜市などするといいと思います。

○国際交流

- ・アジア諸地域との積極的な交流。
- ・大手企業による寄付金を集め、国際的なイベントや外国人とのつながり、拠点となる都市づくりを期待する。
- ・人口の減少にともない少子高齢化社会となった今、外国人労働者や、就労を希望する留学生の受け入れは必須となったが、県の方ではまだまだ外国人の立場になったフォローができていない、福岡県民と県在住外国人がともにまちづくりをしていくという発想がこれから大事になると思います。
- ・アジア地域にとっての日本の窓口としての立場の確立。
- ・海外の受け入れ、安くていい宿泊施設向上に力を入れてもらいたい
- ・アジアと近い県として、交流活動を現在よく行っていると思います。留学生もちらほら見かけます。しかし、地方市町村となると受け入れる我々県民側も尻込みしてしまうように思います。息子達の世代は、学校で留学生との交流やALTの先生とふれあって、異文化交流を行っています。若い世代がいろんな国の文化にふれる機会があればいいです。
- ・立地環境からアジアの人達の交流人口が増加するだろうから治安上の問題が発生しないような住環境の整備、労働、賃金の確保に施策を講じ、日本人、外国人が仲良く暮し、活気のある福岡県になってほしい。
- ・アジアの国と近い福岡県です。歩いている人々が色んな国の言葉であふれるような県。アジアと仲良しの県になって欲しいです。

○農林水産振興

- ・山地（特に林業地）の整備を行い、美しい地域にする必要がある（現在は荒れ放題となっていて見苦しい）。その支援方策が農地活性に繋がると考える。
- ・地方部の農業漁業の推進。
- ・農産物等の輸出促進（安心・安全をアピール）（国内の生産者への意欲向上。消費人口減少対策として）。
- ・美味しい食べ物がたくさんあるので今以上に広めてほしいです。カキ小屋をすすめてほしいです。
- ・第一次産業の活性化。
- ・豊かな自然をいかした食料品の生産。
- ・どこよりも福岡県は食べ物が美味しいと思うので、食べ物に特に力を入れてもらうことで県民はもっと幸福になれると思う。
- ・農業、林業への支援。

○女性

- ・女性をもっと自立できるような支援とそれをとりまく環境の整備をすること。
- ・産休に入りにくい状況や復帰しにくい状況がなくなるといい。
- ・県内のほとんどの企業がくるみんマークを認定され、より一層子育てをしつつ、女性も働き続けることが当たり前の福岡県になってほしいです。
- ・女性が働く環境を提供してほしい。
- ・不妊治療にもっともっと力を入れて頂き、低収入の人達にも高度な医療が出来るようになればいいなと思います。

○NPO・ボランティア

- ・ボランティア参加が多い国民性。
- ・ボランティア育成。
- ・若い人の就職はもちろん、高齢者の元気な人のボランティアや就職があれば。
- ・ボランティアで参加する時に、仕事を休みやすく会社に働きかけてほしい。

○その他

（安全安心・平和・思いやり）

- ・人にやさしい福岡県、元気な福岡県であってほしい。
- ・温かい、優しい、思いやりのある国民性づくり。
- ・安心安全に暮らしたい。
- ・県民一人一人が助け合って人の為、地域の為、福岡の為に自分にできることをする。
- ・ゆとりのある福岡県。この先、安心出来る福岡県。
- ・福岡県は素晴らしい。県民に優しい県だ！と思える様になれば嬉しいです。
- ・子供から大人まで安心して暮せるようになることを期待します。
- ・一人一人皆が思いやりのある人であって欲しい。

(生活保護・低所得者支援・貧困対策などの弱者対策)

- ・高所得者に対してよりも、低所得者に手厚い対応をしてほしい。
- ・母子家庭、高齢者、弱者に対する表面のつくろいでは無く、弱者が心にゆとりがもてる皆が納得できる笑顔で一つになれる県民の姿が見たいです。
- ・弱者が生活しやすい県にして下さい。
- ・低所得者にも情報が行き届いているとありがたい。
- ・低所得者対策に力を入れて頂きたい。
- ・障がいや外国籍等で差別や偏見のない県。全ての人が夢や希望を持てる県。
- ・社会的弱者の生活の安定の実感に力を入れてほしい。
- ・税金をまじめに納めている人が多い中、生活保護受給者で不当な方が多くみられる様に思えます。本当に色々な支援が必要な方達が我慢をされている方も多く思われます。本当の見極めをお願いします。

(行財政)

- ・財政の健全を目指し、将来へ負債を残さない経営をお願いします。
- ・子育て支援、介護される人、そして介護する方の人間も不安やストレスを抱えています。どんな悩みも相談できる、しやすい行政があると安心感があると思います。
- ・福岡市が何を行っているかはわかるが、福岡県が何を行っているかわからない。マスコミに市と県に違いが明確に出てこない。
- ・行政が行なう取り組みと実際に生活している一般の県民との間に意識のずれがある様に感じる。県の職員の方々も一生懸命仕事をされている事とは思いますが、規則にとらわれず、柔軟な対応を取ってほしい。
- ・県民一人一人の自覚、取り組みが主役となるが、そのためには県（県庁）の役割が非常に大きいと思う。課題発見、解決能力を向上させることが必要。

(家族・地域との繋がり・絆)

- ・寂しく暮らしている人のいない県にしてほしい。
- ・町内単位の活動を明確化し地域、町内の絆を感じる町づくり見守りの充実。
- ・県民同士の交流を活性化することで文化や行事、地域を盛り上げていき一人一人の心の充実にもつながるような県になってほしいです。
- ・誰もが、人とつながっていることのできる社会になればいいなと思います。
- ・今は昔と違いまわりのつながりが少ないと思います。近くの人達と仲良くなるにはどうしたら良いかと思います。
- ・地域のつながりを深めて協力する。
- ・昔の井戸端会議みたいなコミュニティが出来る場所があれば良い。人間関係が良いと少々嫌な事でも乗り越えられる。
- ・インターネットなどが普及している昨今ではあるが、本来、人が交流していくことが幸福を感じられるものとする。

(道徳教育・モラル・マナー・県民の意識の向上)

- ・子供達の育成の中、道徳など心の育成をしてほしい。
- ・福岡県が動物殺処分が1番多い→減らして欲しい。学校教育の中の道徳を重要視して欲しい。
- ・福岡市は動物虐待等も増えてきている。地域の方たちでもっと協力できるよう海外のように人間と動物の線引きがなくなるようになってほしい。
- ・モラル、マナーを守る意識の向上。
- ・社会教育を重視してほしい。モラル教育。学生の犯罪が目立つ、中学、高校、大学。社会教科の中で放火、殺人(他)の処罰などの刑を良く教えるべきだと思う。今の日本は、何でも有りのような。若者は、もっと勉強すべき。
- ・倫理観を培う教育を重視して欲しい。正しい者が馬鹿をみる世の中にならないよう健全な社会を目指してもらいたい。
- ・観光客のマナーに関して、国民もだが、中国韓国客のマナーについても考えさせられます。細かい事かもしれませんが、先ずは小さな事から規範意識、モラルを育てていくことの必要性を感じます
- ・若者の道徳、社会的マナーの教育。

(税金)

- ・税金をムダなものに使わないで欲しい。
- ・税金や地価を安くして欲しい。
- ・長く福岡県に住み働き税を納めてきた人たちが老後安心して暮らせるシステムを作ってもらいたいです。20年以上住んでいる人に税や国保の割引など。
- ・これ以上物価や消費税が上がらないこと。
- ・高齢者の生活に負担になるような税金等は、軽減して欲しい。
- ・固定資産税の見直し(少なくして欲しい)。
- ・就職しやすい環境を作り、税で支払らわれている支出を減らし、県民全員が不必要な税を払わず安定した収入状況を続けられる事。
- ・空き家解体後の税金増は避けられないのだろうか。地方における空家の解体後の価値は上がらないと思える。

(年金・社会保障)

- ・若い世代への年金の説明。そして、今後の年金の計画を明確化。
- ・老後の安定・年金の充実。
- ・年金だけの生活ができるようにしたい。子供に迷惑かけることなく。
- ・様々な世代に応じた保障制度を考えて、住みやすい生活環境等を整備してほしい。
- ・将来的な生活の安定。年金制度の充実。
- ・高齢者が安心して暮せる、社会保障。

(幸福について)

- ・目標が抽象的過ぎる。どうやって日本一と判断するのか。
- ・幸福について、行政が行うには無理があるのでは。
- ・幸福感は県に依存する部分もあるかもしれないが、国の政策に依存する部分の方が大きいと感じる。国の政策への対応も重要ではないか。
- ・誇れるものがあると、幸福の動機づけにもなるのでは。
- ・一人ひとりが幸福を実感する事は無理。人それぞれの生活や思いはバラバラである。
- ・「幸福度日本一」ということにこだわらない行政を望みます。数値だけでなく、一人一人の県民のための誠実な行政を期待します。

- ・現在が幸福を実感しているし、県民幸福度日本一と言ってもおかしくない。知事、県議員が良く頑張っている。
- ・人間の幸福度は県民性によって測られるものではない。個人の主観だ。

(経済発展・経済成長)

- ・経済を軸にバランス良い福岡。
- ・将来に希望、夢が持てる様に政治、経済の安定。
- ・福岡市の一極集中の状況から、各地域の特色を活かした県全体への物、人、金等の波及による経済効果が実感できることを期待する。
- ・若者、海外の人、県外の人など新しい風を起こせる人の力で、常に変化、進化し続ける街になること。
- ・東京、大阪に次ぐ日本第3の都市へ。
- ・消費を外国人に頼らない。
- ・福岡県だけではなく、九州各県と連携して、各県の役割を明確にして、九州全体で発展して欲しいです。そのリーダーシップを福岡県に担って欲しいです。

(人口減少問題)

- ・自然を生かしつつ、人口の偏在を無くす。
- ・人口減少問題に歯止めをかけることが最優先課題と考えます。このために税金を使い、結果を出してほしい。
- ・少子化対策に力を入れてほしい。
- ・北九州市にみられる様に基幹産業の変化に伴って人口減（元気のない街）となる所もあるので、地域ごとの対応を変えていくことも重要。
- ・少子高齢化への対策。
- ・中山間部の高齢化による人口減少、廃屋等の対策
- ・福岡市内だけでなく、その他の市町村でも人口が増えるようになってほしいと思います。各市町村がその土地の特色を生かし、アピールしたらいいと思います。

(調査について)

- ・このアンケートには賃金や労働時間に関するものがない。アンケート作成にあたっては労働者や利用者にも意見を聞くようにしてください。
- ・今回のアンケート項目、地域別ではなく県全体で取り組み、推進して行ってほしいと思います。
- ・無作為とはいえ自分やいろんな人のことを考えるいい機会になりました。これからも多くの人の声に耳を傾け、実行してもらえればと思います。よろしくお願いします。
- ・幸福度日本一を目指すことやこの意識調査を行うこと自体が素晴らしい行政のやる気を感じる。
- ・県民の声を反映させる方法として、この様な定期的なアンケートだけでなく、オープンデータやガバメント 2.0 といった市民参加型システム等も推進して欲しい。
- ・意識調査等をしなくても誰もが幸せと分かるような社会、地域作り。
- ・どうかこのアンケートがただのアンケート施策で終わる事なく、よい良い福岡への一歩になって欲しいと思います。

(政治)

- ・新聞を見ては政治家の金の無駄遣いに腹が立ちます。一般市民の人たちのことを考えていますか？
- ・市議会議員の定数削減。
- ・会社や団体などから強制的にやらされる政治政党への投票のお願いなどを辞めさせてほしい。選挙時に正しく物事を見極められるような県民が育つようにその辺の対策に力を入れてほしい。

- ・政治家が本当に信頼される人になる事。公務員は政治家の意見より、民の思いを大切にすること。
- ・議員定数の削減（極端に半分以下）。その分を施設拡充や環境整備に予算を回して、もっと発展する福岡県を作りたい。
- ・県、市の議員の削減。

(いじめ・虐待・差別をなくす)

- ・`差別のない福岡県`。少しでも近づきたい。
- ・いじめゼロ。
- ・1人1人が協力し合い、助け合う町にし、差別のない県にしたい。
- ・教師の体罰。
- ・子供達がいじめで自殺等しないように。

(人材育成)

- ・これからの社会を担う人々への人材育成の充実。
- ・豊かな教養、人材育成による地域の活性化。
- ・まず警察、消防、教職員の処遇を日本一にすることで（都道府県で独自の対応を決定できるのであれば）優秀な人材を確保していただきたい。
- ・信頼される人材育成なども強化して欲しい。
- ・すぐ使える大人を作るのではなく、一から教え、育てるあげる社会であってほしいと思います。
- ・福岡をアピールする人材づくり。

(その他)

- ・高齢者や障がい者だけでなく子供や若い人達も大切に育てられる社会。
- ・福岡⇄北九州の一体感の醸成。
- ・県内の市町村の個性を発揮し、情報提供し合うことで、県民1人ひとりが、自分に合った住みやすい場所、または環境を見つけることができると思う。そうすることで、“福岡県”が活気ある県につながると思う。
- ・住みやすさ（全てを含めて）が一番だと思う。
- ・外国の方、障がいのある方、お年寄りなど、すべての人々が笑顔で暮らせる町づくりを行っていただきたいです。地方だからこそ、先進的な取り組みを行っていただきたいです。
- ・福岡県は他県から引っ越してきた人が便利な町でもう引っ越したくないって言っていたほど本当に住みやすく便利な町だと思っています。もっと福岡県のいいところを伸ばしてこれからも住みやすい町であってほしいと思います。
- ・県外に出ている、ノスタルジアを感じる様な県、町であってほしい。県、町にもう一度帰って生活したいと感じる様な。
- ・福岡は緑も多く、都会的な要素もありとても素敵な街だと思っています。それを壊すことなくもっといろんな事が体験出来る所になって欲しいと思っています。
- ・会社や団体への保護より個人への取り組みをして欲しい。
- ・観光や保育園の情報があまりインターネットに載っていない。直接足を運ばないと情報が集められない。情報発信を細やかにかつ管理、更新を促進する。
- ・期待はしない。

4. 本調査における特徴的な結果

(1) 幸福実感の“判断基準”と“重視事項”による幸福実感の差

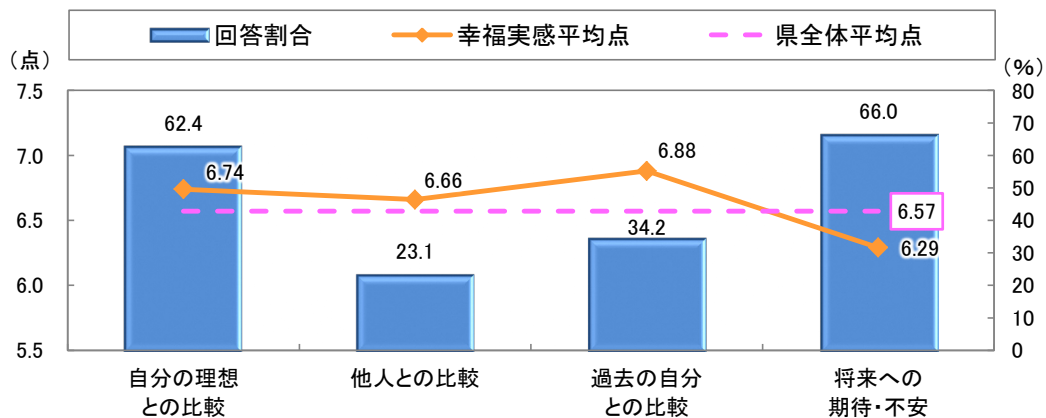
- 「過去の自分との比較」、「自分の理想との比較」、「他人との比較」を判断基準とした層の幸福実感は、比較的高い。
- 「将来への期待・不安」を判断基準とした層の幸福実感は、比較的低い。

幸福実感を判断する上で重視した基準（以下、判断基準）別に幸福実感平均点をみると、「過去の自分との比較」（6.88点）が最も高く、次いで「自分の理想との比較」（6.74点）、「他人との比較」（6.66点）、「将来への期待・不安」（6.29点）となっています。なお、判断基準別の平均点の順位は前回調査と同様の結果となっています。

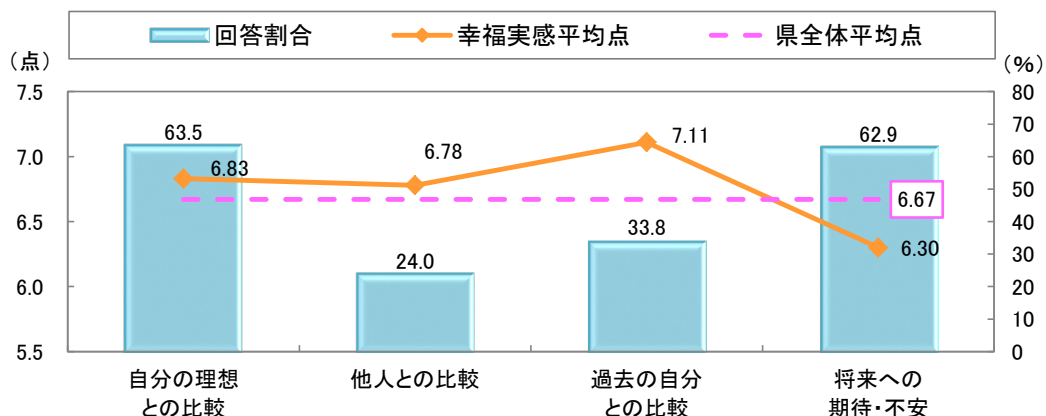
「自分の理想との比較」、「他人との比較」、「過去の自分との比較」では、平均点が県全体より高いことから、県全体の平均点にプラスの影響を与えていると考えられます。

一方で、「将来への期待・不安」は平均点が低く、将来について期待よりも不安を感じている層が、県全体の平均点にマイナスの影響を与えていると考えられます。なお、「将来への期待・不安」は回答割合が最も多く、県全体の66.0%を占めています。

判断基準別の回答割合と幸福実感平均点



判断基準別の回答割合と幸福実感平均点（前回）



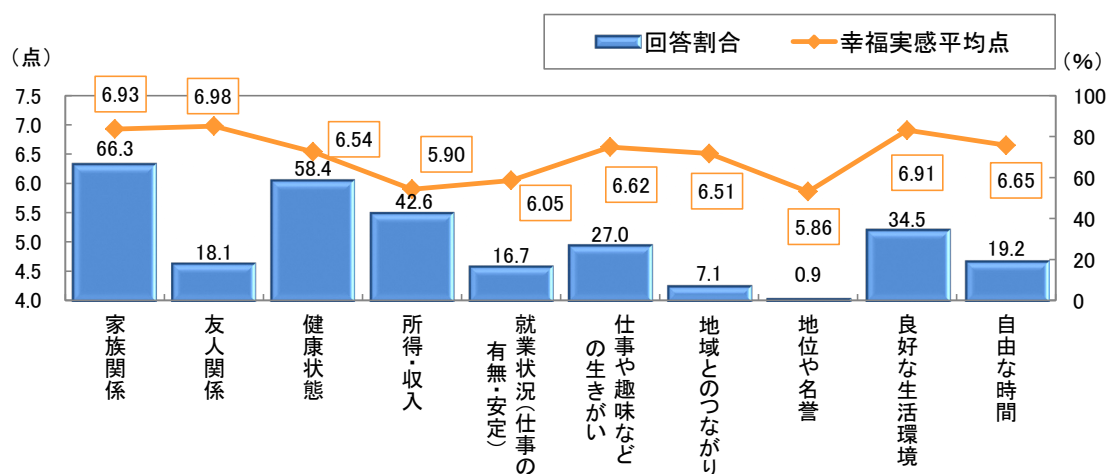
- 「家族関係」、「友人関係」を重視事項とした層の幸福実感は、比較的高い。
- 「所得・収入」、「就業状況」を重視事項とした層の幸福実感は、比較的低い。

幸福実感を判断する上で重視した事項（以下、重視事項）別に幸福実感平均点をみると、「友人関係」（6.98点）が最も高く、次いで「家族関係」（6.93点）となっています。また、「所得・収入」（5.90点）、「就業状況」（6.05点）は平均点が低くなっています。なお、重視事項別の平均点の順位は前回調査とほぼ同様の結果となっています。

「友人関係」や「家族関係」の平均点が高いことから、身近な人間関係に満足している層が、県全体の平均点にプラスの影響を与えていると考えられます。なお、「友人関係」の回答割合は県全体の約2割、「家族関係」は約7割となっています。

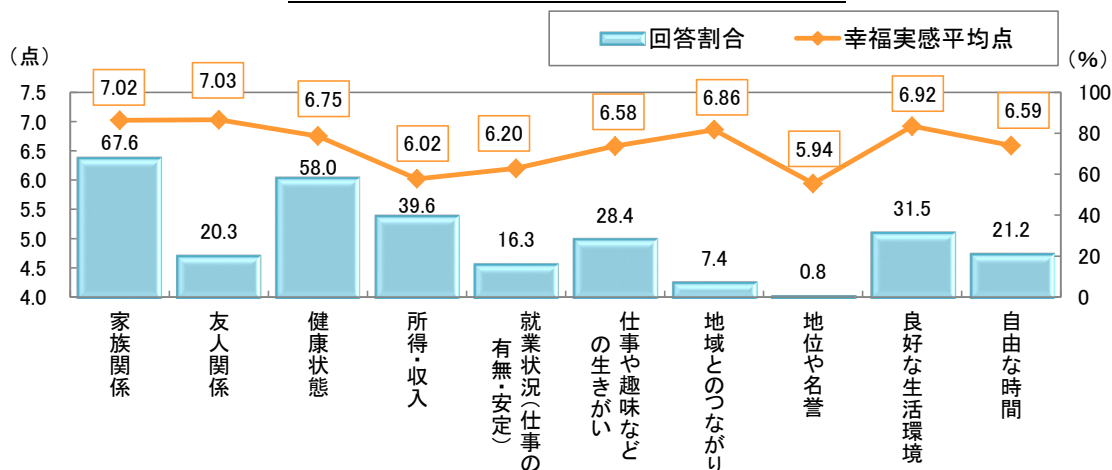
また、「所得・収入」や「就業状況」の平均点が低いことから、仕事関係や経済的な面で不満を感じている層が、県全体の平均点にマイナスの影響を与えていると考えられます。なお、「所得・収入」の回答割合は県全体の約4割、「就業状況」は約2割となっています。

重視事項別の回答割合と幸福実感平均点



※「地位や名誉」はサンプル数が少ないため、分析から除外している

重視事項別の回答割合と幸福実感平均点（前回）



(2) 家族構成による幸福実感の差

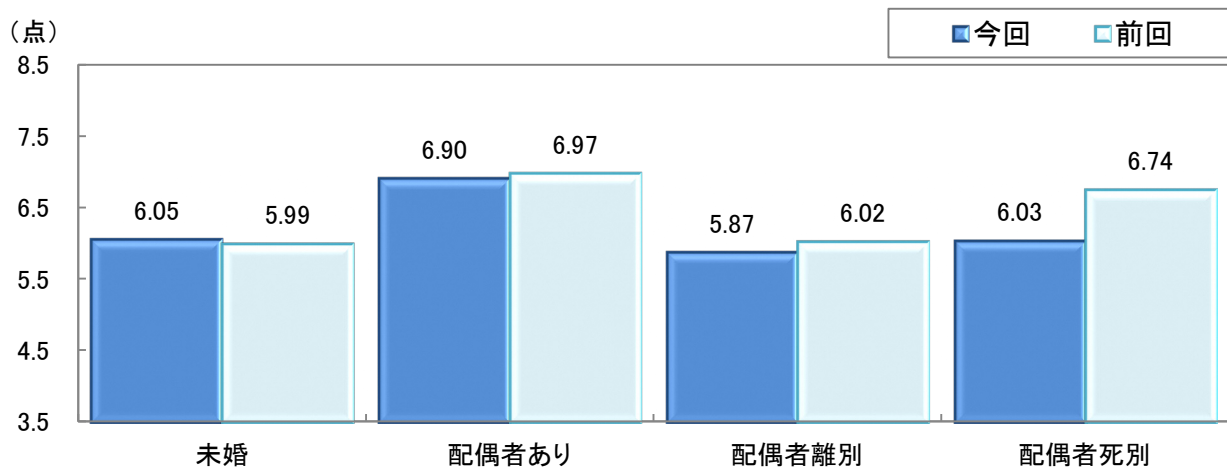
- ・「配偶者あり」は「未婚」等比べて、幸福実感が高い。
- ・男性は女性に比べて、「配偶関係」が幸福実感に与える影響はやや大きい。

配偶関係別に幸福実感平均点をみると、「配偶者あり」(6.90点)が最も高く、次いで「未婚」(6.05点)、「配偶者死別」(6.03点)、「配偶者離別」(5.87点)の順となっており、前回調査と比較すると「配偶者死別」の層の幸福実感の点数が低くなっています。また、前回調査では「未婚」の層は点数が最も低かったのに対し、今回調査では2番目に高くなっています。

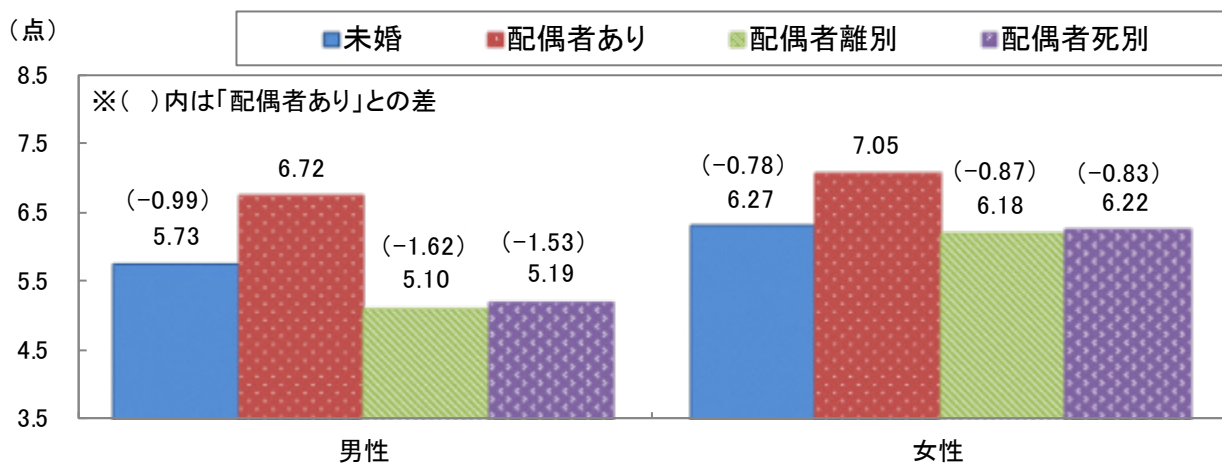
男女別にみると、男女ともに「配偶者あり」の平均点が最も高くなっています。また、「未婚」と「配偶者あり」との平均点の差を比較すると、男性は0.99点差、女性は0.78点差となっています。なお、前回調査では、男性は1.22点差、女性は0.77点差でした。

「未婚」と「配偶者あり」の差から、男性の方が女性よりも、配偶関係が幸福実感に与える影響がやや大きいことがうかがえます。

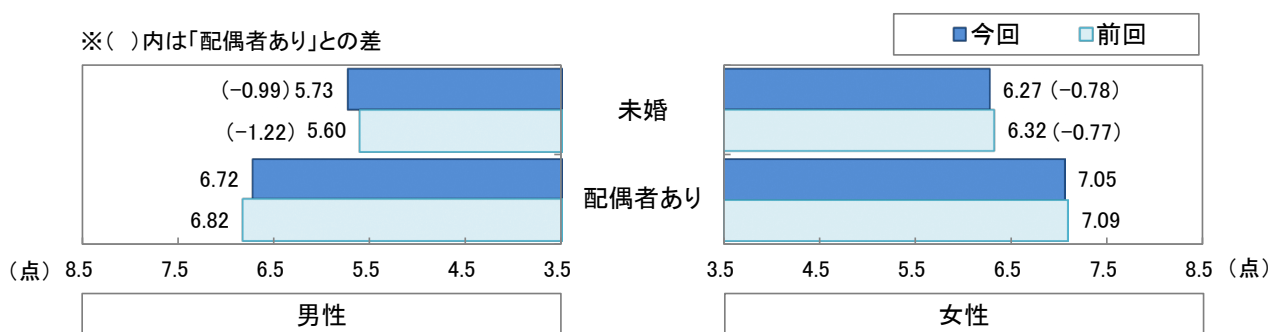
配偶関係別の幸福実感平均点



配偶関係別の幸福実感平均点(男女別)



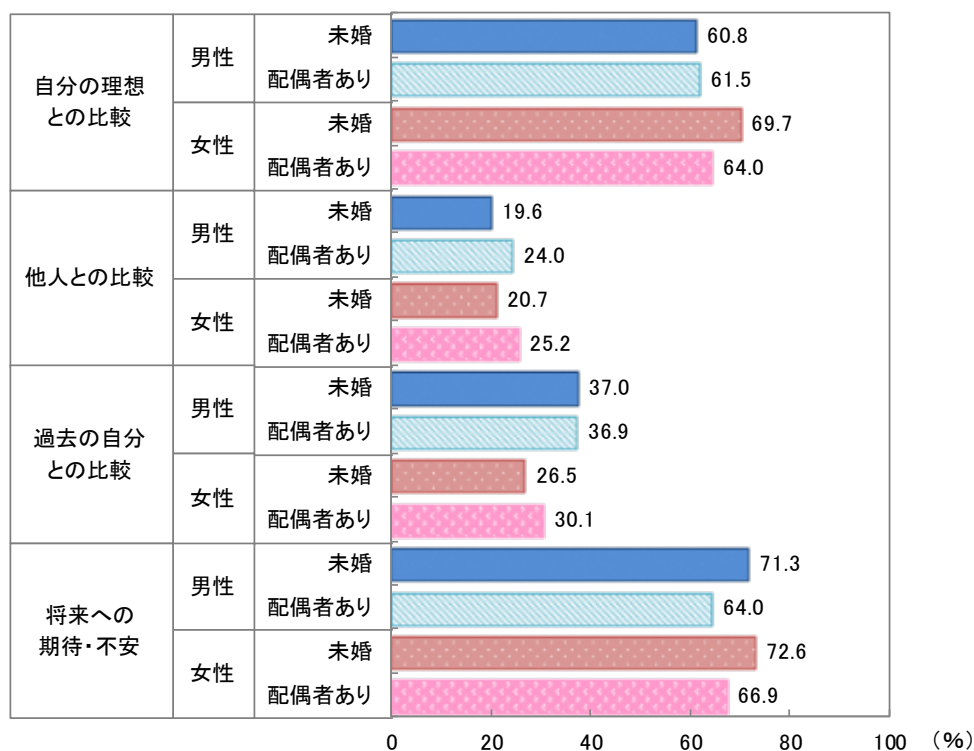
配偶関係別の幸福実感平均点（男女別：前回との比較）



また、幸福実感の判断基準の回答割合をみると、男女ともに「未婚」「配偶者あり」にかかわらず、「将来への期待・不安」の割合が高くなっています。

「未婚」と「配偶者あり」との差を比較すると、「将来への期待・不安」で男女とも大きな差がみられ、男性は 7.3 ポイント差、女性は 5.7 ポイント差で「未婚」の割合が高くなっています。このほか女性では「自分の理想との比較」で 5.7 ポイント差と、「未婚」の割合が高くなっています。

配偶関係別の幸福実感判断基準（男女別）

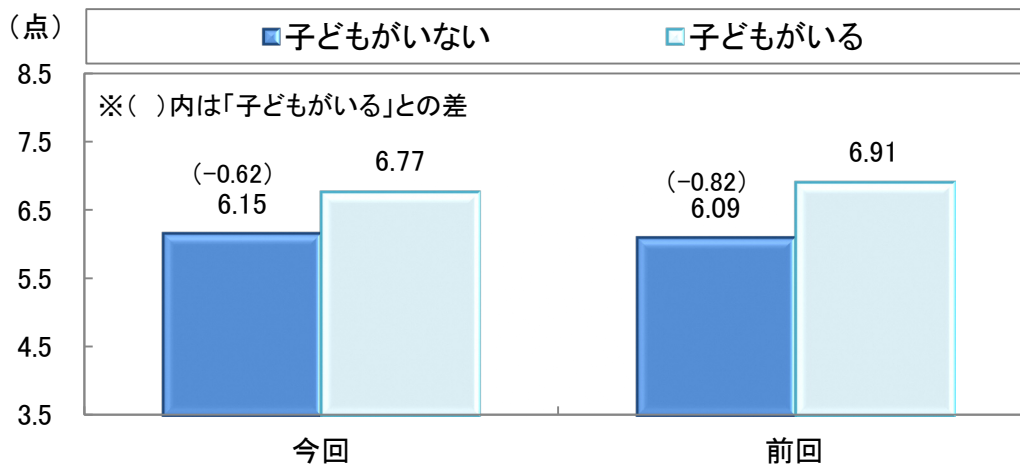


- 「子どもがいる」は「子どもがいない」に比べて、幸福実感が高い。
- 男性は女性に比べて、子どもの有無が幸福実感に与える影響がやや大きい。

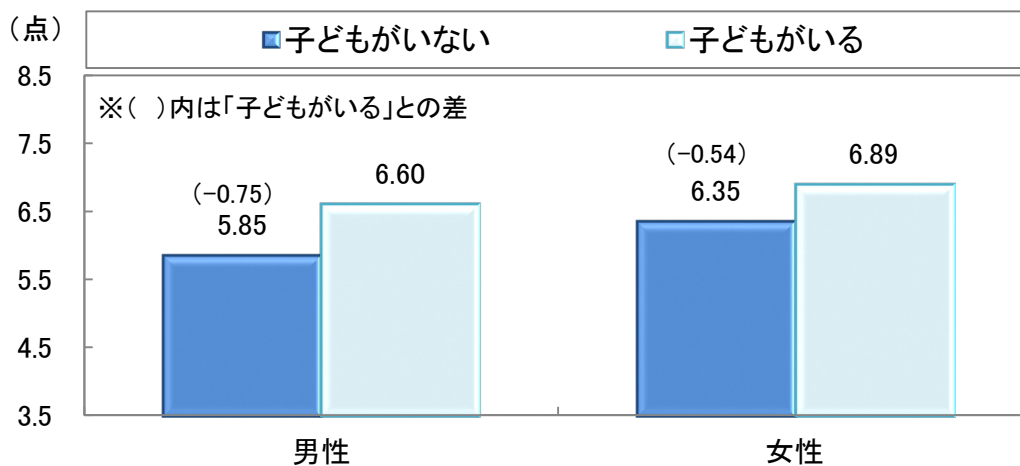
子どもの有無別に幸福実感平均点をみると、「子どもがいる」(6.77点)が「子どもがいない」(6.15点)に比べて0.62点高くなっています。なお、前回調査でも「子どもがいる」が高く、0.82点差でした。

男女別にみると、男女ともに「子どもがいる」の平均点が高くなっています。平均点の差を比較すると、男性は0.75点差、女性は0.54点差となっており、男性の方が女性よりも子どもの有無が幸福実感に与える影響がやや大きいことがうかがえます。

子どもの有無別の幸福実感平均点



子どもの有無別の幸福実感平均点 (男女別)

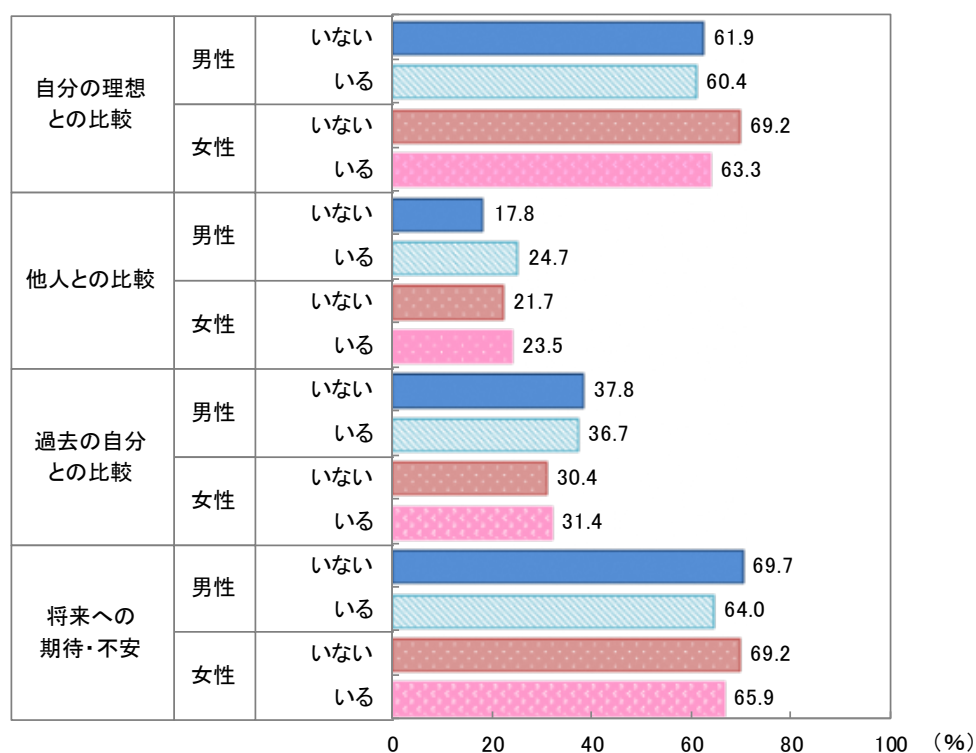


また、幸福実感の判断基準の回答割合をみると、男性では、「子どもがいない」・「子どもがいる」ともに「将来への期待・不安」が最も多く、女性では「子どもがいない」では「自分の理想との比較」と「将来への期待・不安」、 「子どもがいる」では「将来への期待・不安」が最も多くなっています。

「子どもがいない」と「子どもがいる」との差を比較すると、男性では「他人との比較」、女性では「自分の理想との比較」で大きな差がみられます。男性の「他人との比較」では6.9ポイント差で「子どもがいる」の割合が高く、女性の「自分の理想との比較」では5.9ポイント差で、「子どもがいない」の割合が高くなっています。

加えて、差が大きいものとして、男女ともにこれに「将来への期待・不安」が続いており、いずれも「子どもがいない」の方が「子どもがいる」よりも割合が高く、男性で5.7ポイント、女性で3.3ポイント差となっています。

子どもの有無別の幸福実感判断基準（男女別）



(3) 男女別・年代別による幸福実感の差

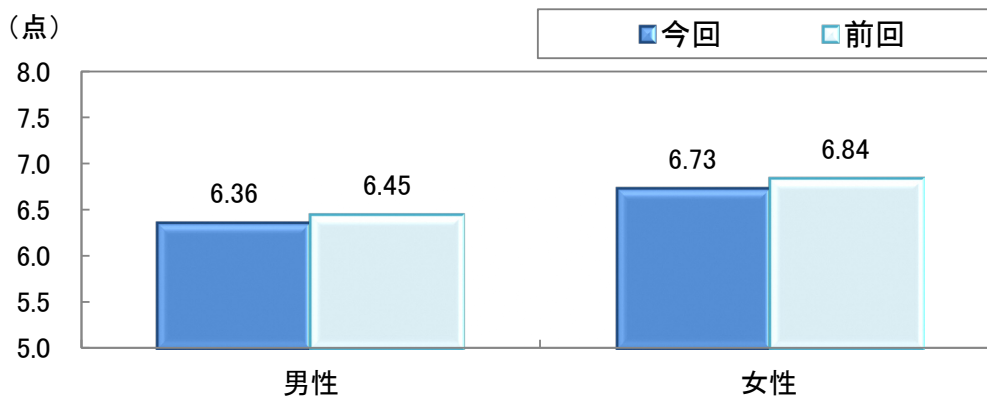
- 女性は男性より幸福実感が高く、50歳代と60歳代を除く年代で県平均点を上回っている。
- 男性では18・19歳と20歳代、40歳代が県平均を上回っている。
- 20歳代男性、18・19歳女性、30歳代女性は幸福実感の点数が前回調査より上がっている。
- 30歳代男性、50歳代女性、60歳代女性は幸福実感の点数が前回調査より下がっている。

男女別に幸福実感平均点をみると、女性が0.37点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.09点下がり、女性は0.11点下がりました。

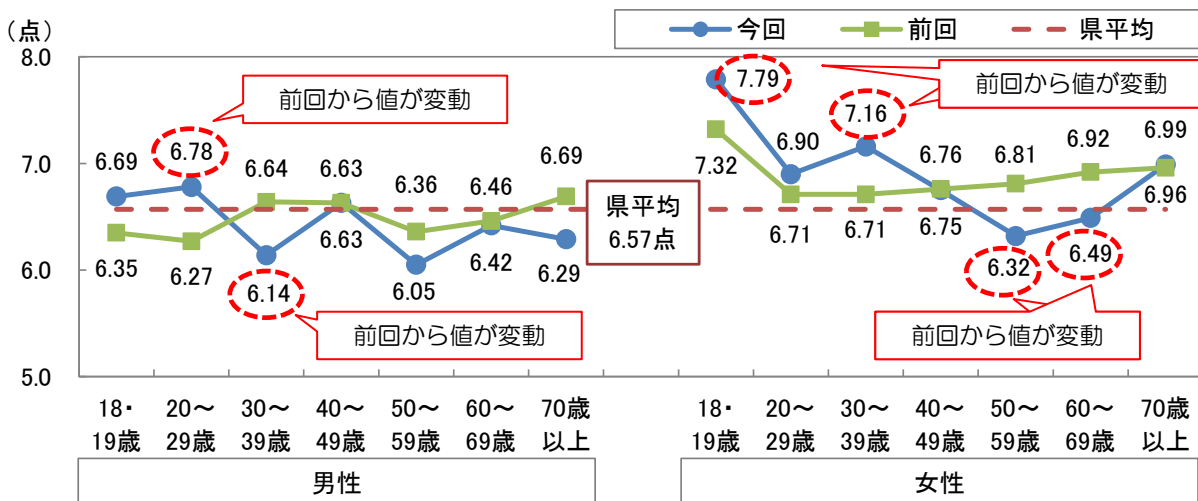
性・年代別にみると、男性は30歳代と50歳代以上が県全体の平均点を下回り、女性は50歳代と60歳代が県全体の平均点を下回りました。特に、50歳代男性(6.05点)が最も低く、次いで30歳代男性(6.14点)が低くなっています。

また、前回調査と比較すると、20歳代男性は0.51点、18・19歳女性は0.47点、30歳代女性は0.45点上がっている反面、30歳代男性は0.50点、50歳代女性は0.49点、60歳代女性は0.43点下がっています。

男女別の幸福実感平均点



男女・年代別の幸福実感平均点



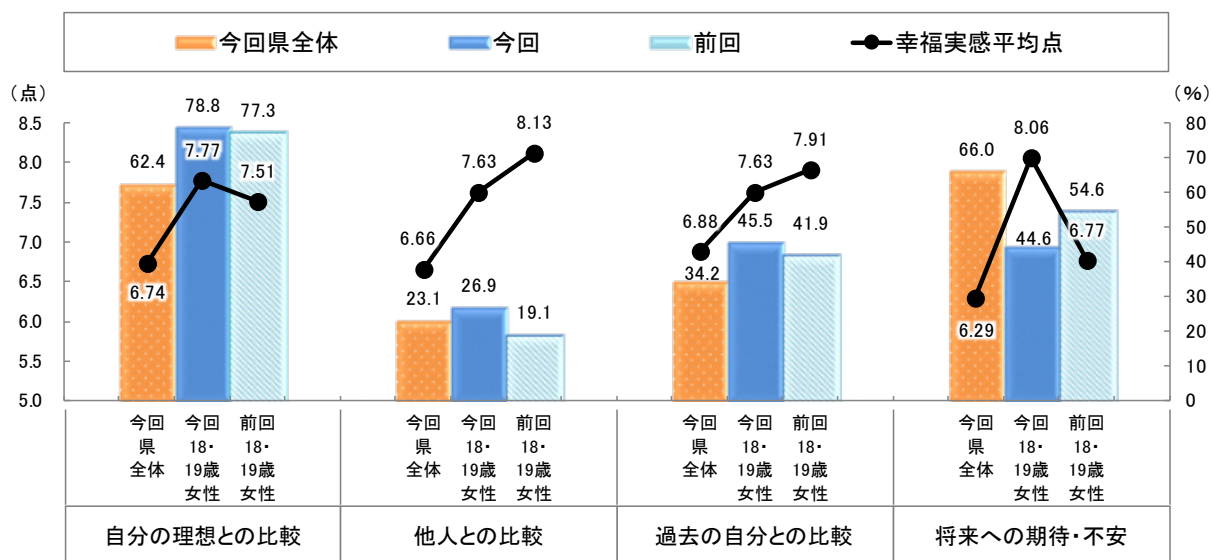
18・19歳女性の幸福実感判断基準の回答割合をみると、前回調査より「他人との比較」が7.8ポイント増加し、「将来への期待・不安」が10.0ポイント低下しています。

重視事項の回答割合をみると、「友人関係」が前回調査より52.4ポイント増、「良好な生活環境」が22.2ポイント増、「自由な時間」が11.7ポイント増となっており、一方「仕事や趣味などの生きがい」は25.1ポイント減、「家族関係」は8.2ポイント減となっています。また、平均点は「友人関係」「良好な生活環境」「家族関係」「仕事や趣味などの生きがい」で、前回調査より上がっています。

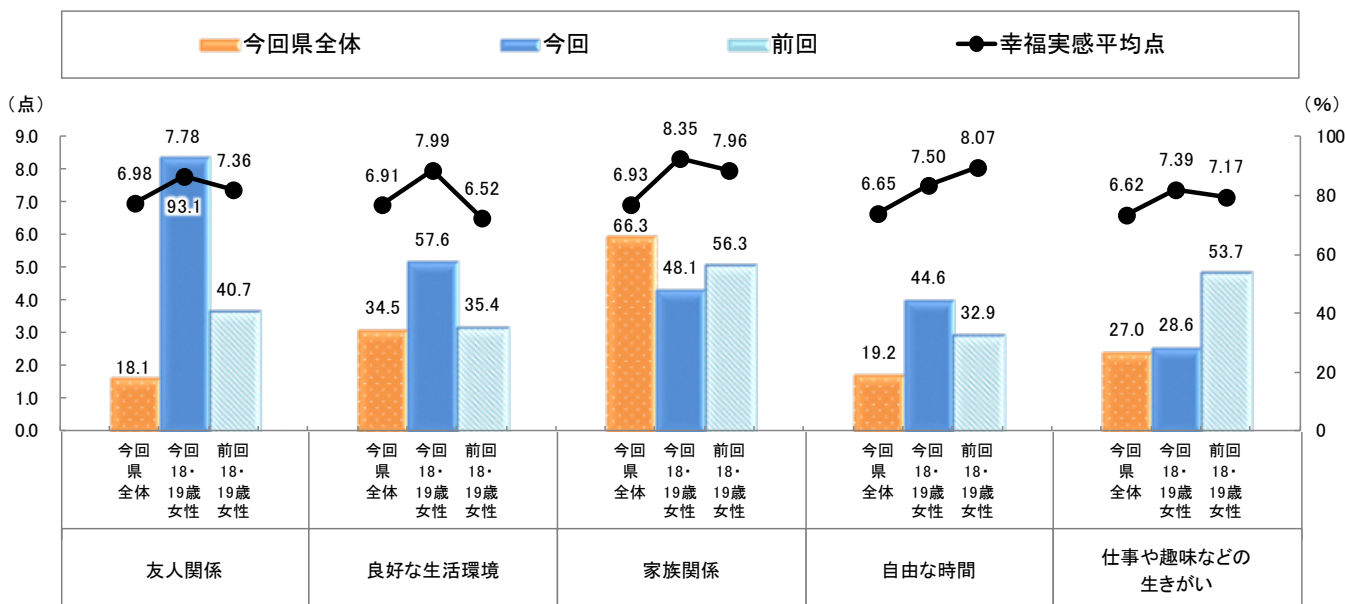
これらのことから、18・19歳女性の幸福実感にプラスの影響を与えているのは、自分の理想や過去の自分と比較した場合の、友人関係や生活環境などの満足度ではないかと考えられます。

なお、18・19歳女性はサンプル数が僅少であり比率が変動しやすく、分析内容は参考程度にとどめます。

【18・19歳女性】判断基準別の幸福実感平均点



【18・19歳女性】重視事項別の幸福実感平均点（※上位5項目）

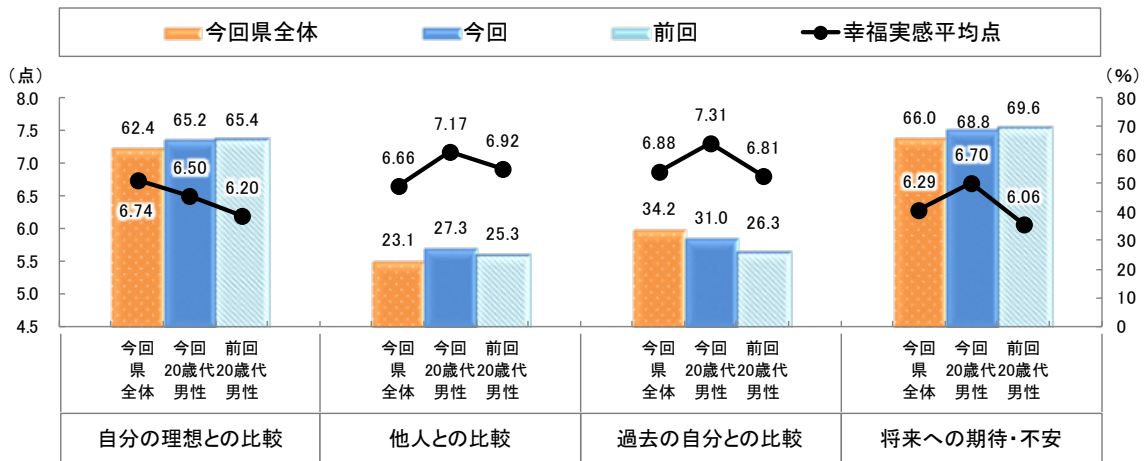


20歳代男性の幸福実感判断基準の回答割合をみると、「過去の自分との比較」が、前回調査より4.7ポイント増となっています。また、「将来への期待・不安」「自分の理想との比較」が約7割で他の2項目と比較して高くなっています。

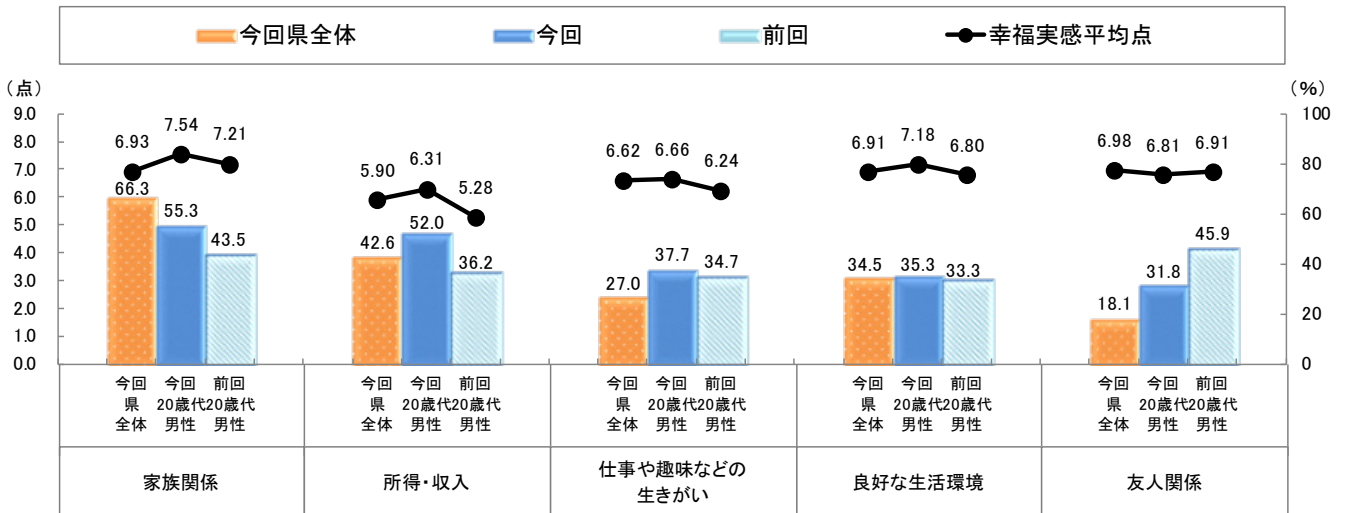
重視事項の回答割合を上位5項目でみると、「友人関係」を除くいずれの項目でも、前回調査より増加しており、特に「所得・収入」は15.8ポイント増、「家族関係」は11.8ポイント増となっています。また平均点は、「友人関係」を除くいずれも前回調査より高くなっています。

これらのことから、20歳代男性の幸福実感にプラスの影響を与えているのは、家族関係や所得・収入について、将来への期待や自分の理想と比較した場合の満足度と考えられます。

【20歳代男性】判断基準別の幸福実感平均点



【20歳代男性】重視事項別の幸福実感平均点（※上位5項目）

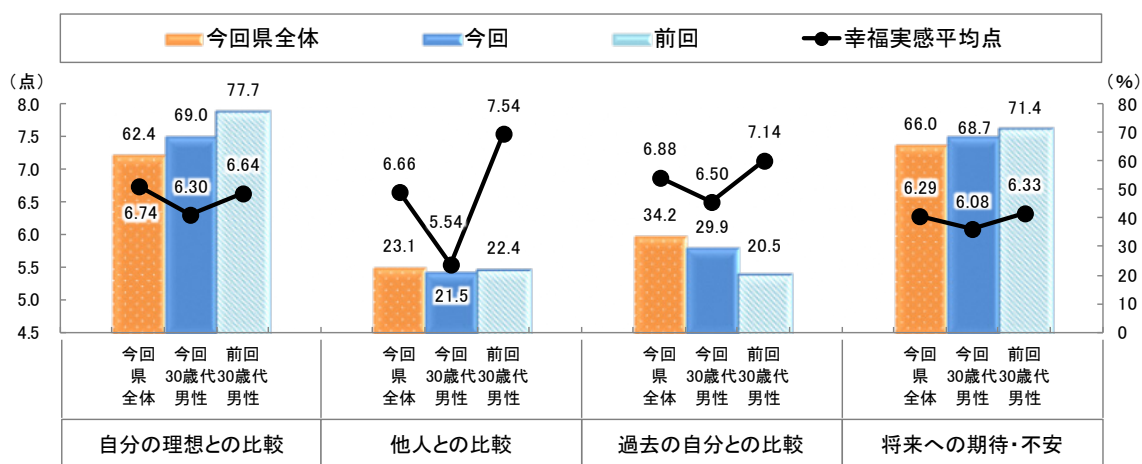


30歳代男性の幸福実感判断基準の回答割合をみると、「過去の自分との比較」を除く項目でいずれも減少しており、「自分の理想との比較」では前回調査より8.7ポイント、「将来への期待・不安」では2.7ポイント、「他人との比較」では0.9ポイント減少しています。また、幸福実感の平均点は、いずれも前回調査より下がっています。

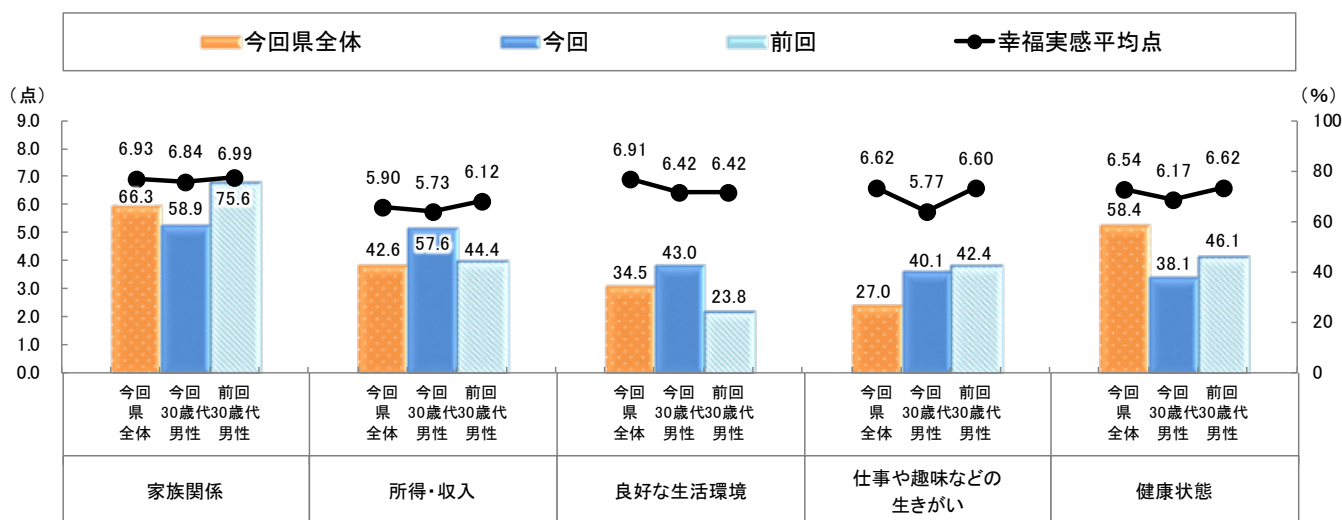
重視事項の回答割合をみると、「所得・収入」が前回調査より13.2ポイント増加した一方で、幸福実感平均点をみると、「所得・収入」は0.39点下がっています。

これらのことから、30歳代男性の幸福実感にマイナスの影響を与えているのは、自分の理想との比較、そして将来を考えた場合に、家族関係や所得・収入といった面で不満や不安を感じていることではないかと考えられます。

【30歳代男性】判断基準別の幸福実感平均点



【30歳代男性】重視事項別の幸福実感平均点（※上位5項目）

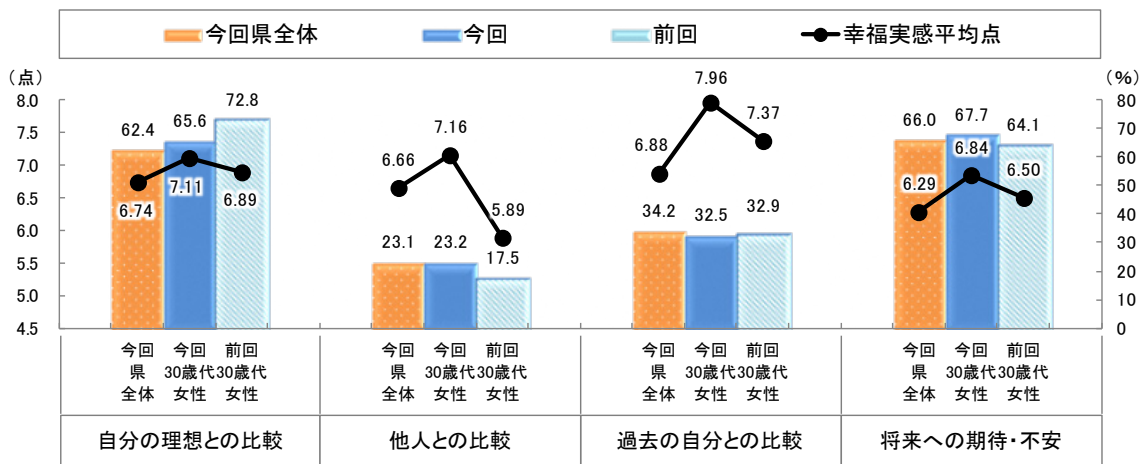


30歳代女性の幸福実感判断基準の回答割合をみると、「他人との比較」は前回調査より5.7ポイント増、「将来への期待・不安」は3.6ポイント増となっています。また、幸福実感の平均点は、いずれも前回調査より上がっています。

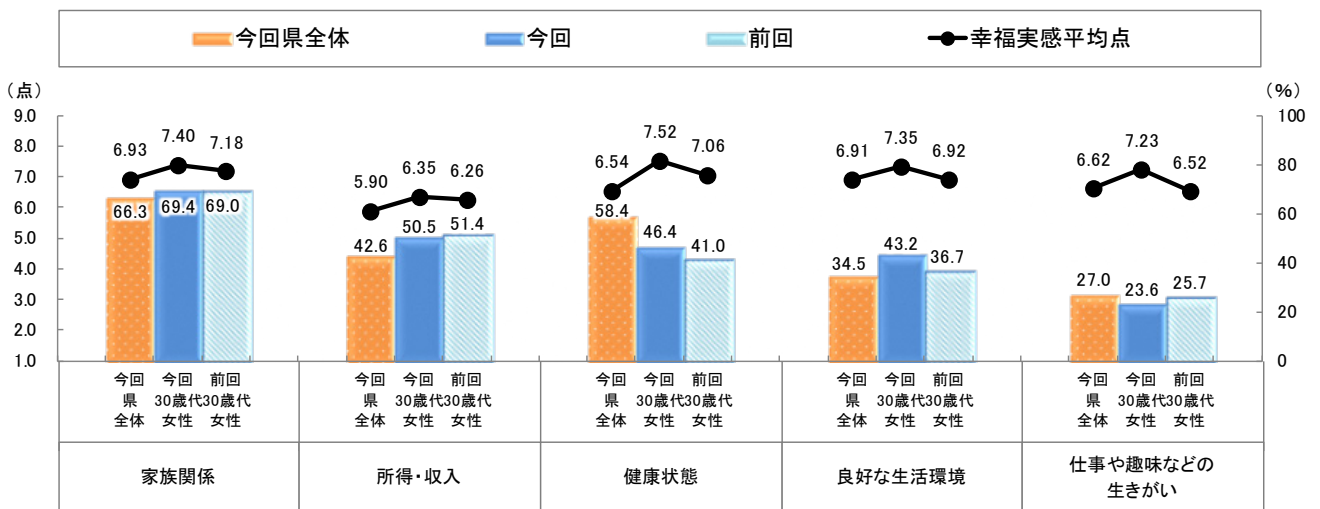
重視事項の回答割合をみると、「良好な生活環境」が6.5ポイント増、「健康状態」が5.4ポイント増となっています。また、幸福実感の平均点は、いずれも前回調査より上がっています。

これらのことから、30歳代女性の幸福実感にプラスの影響を与えているのは、家族関係や所得・収入などについて、自分の理想と比較した場合の満足度や将来への期待と考えられます。

【30歳代女性】判断基準別の幸福実感平均点



【30歳代女性】重視事項別の幸福実感平均点（※上位5項目）

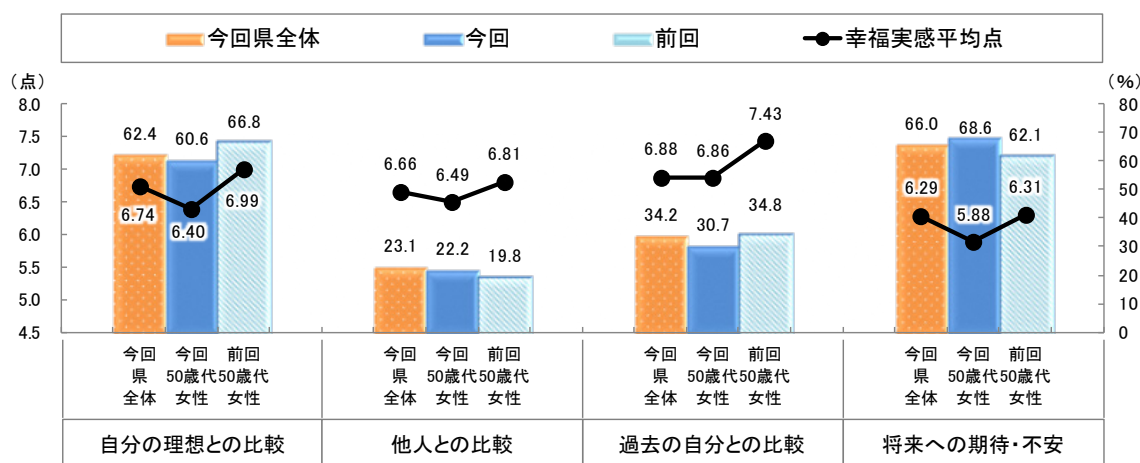


50歳代女性の幸福実感判断基準の回答割合をみると、「自分の理想との比較」は前回調査より6.2ポイント減、一方、「将来への期待・不安」は前回調査より増加しており、6.5ポイント増となっています。

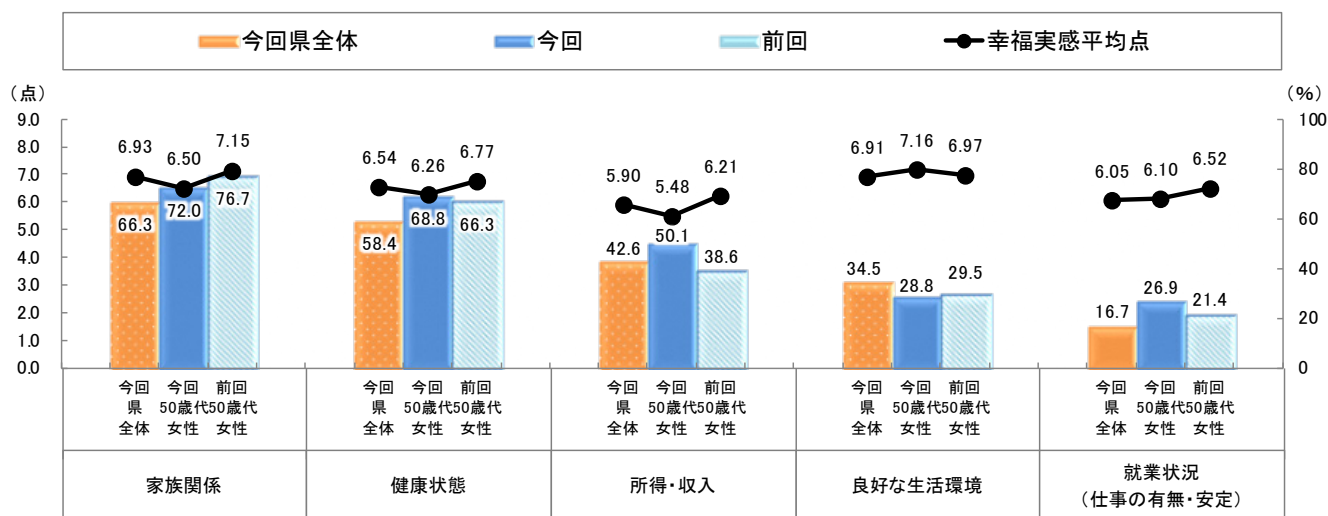
重視事項の回答割合をみると、「所得・収入」が11.5ポイント増、「就業状況（仕事の有無・安定）」が5.5ポイント増、「健康状態」が2.5ポイント増となっていますが、一方で、幸福実感平均点をみると、「家族関係」「健康状態」「所得・収入」「就業状況（仕事の有無・安定）」で、前回調査より下がっています。

これらのことから、50歳代女性の幸福実感にマイナスの影響を与えているのは、家族関係や自身の健康などに関する、将来への不安や自身の理想との差に対する不満ではないかと考えられます。

【50歳代女性】判断基準別の幸福実感平均点



【50歳代女性】重視事項別の幸福実感平均点（※上位5項目）

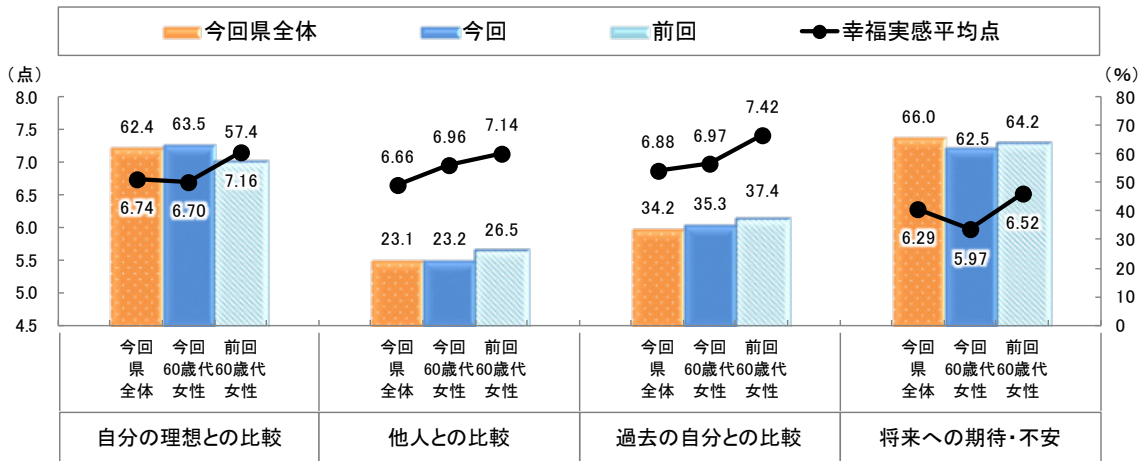


60歳代女性の幸福実感判断基準の回答割合をみると、「自分の理想との比較」は前回調査より増加しており、6.1ポイント増となっています。

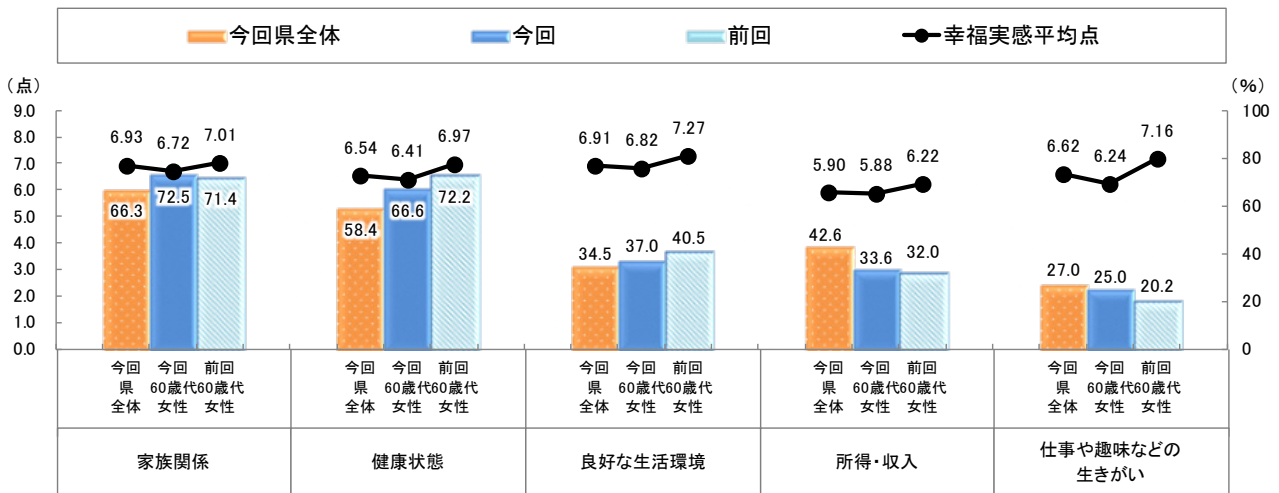
重視事項の回答割合をみると、「仕事や趣味などの生きがい」が4.8ポイント増、「所得・収入」が1.6ポイント増、「家族関係」が1.1ポイント増となっていますが、一方で、「健康状態」は前回調査より5.6ポイント減、「良好な生活環境」は3.5ポイント減となっています。平均点をみると、いずれの項目でも前回調査より下がっています。

これらのことから、60歳代女性の幸福実感にマイナスの影響を与えているのは、自分の理想との比較、そして将来を考えた場合に、家族のことや自身の健康などで不安を感じていることではないかと考えられます。

【60歳代女性】判断基準別の幸福実感平均点



【60歳代女性】重視事項別の幸福実感平均点（※上位5項目）



IV. 調査票

福岡県民意識調査

～ご協力をお願い～

日頃より県政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

福岡県では、県民の皆様一人ひとりが福岡県に生まれて良かった、生活して良かったと実感できる「県民幸福度日本一」の福岡県を目指し、さまざまな取組みを行っています。

この調査を通じて、幸福実感や行政に対し力を入れてほしいことなど、広く県民の皆様のご意見をお聞きし、その結果を今後の県政運営に反映させたいと考えています。

調査対象の選定にあたりましては、県内にお住いの18歳以上の方々の中から4,000名を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

福岡県知事 小川 洋

平成30年6月

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、「こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
3. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
4. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
5. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
6. これまでに実施した同アンケートの結果は、福岡県のホームページでご覧いただけます。
*インターネット検索で「福岡県民意識調査」とご検索ください。

アンケート調査票の回収について

ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
7月22日（日）までに郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

調査主体：福岡県企画・地域振興部総合政策課重点政策班 担当：苑田

住所：福岡市博多区東公園7番7号

TEL：092-643-3158 FAX：092-643-3160

調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター九州事務所 担当：中村、横田

住所：福岡市博多区博多駅東2丁目6番26号

TEL：092-411-8811 FAX：092-411-8851

【幸福実感について】

あなたの幸福の捉え方などについてお聞かせください。

問1 現在、あなたは実感としてどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

← とても不幸	とても幸せ →									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
点										

問2 幸福実感を判断する上で、あなたが重視した基準を2つ選び、○で囲んでください。(○は2つ)

- | |
|--------------|
| 1. 自分の理想との比較 |
| 2. 他人との比較 |
| 3. 過去の自分との比較 |
| 4. 将来への期待・不安 |

問3 幸福実感を判断する上で、あなたが重視した事項を3つ選び、○で囲んでください。「その他」を選ばれる場合は、カッコ内に具体的にお書きください。(○は3つ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 家族関係 | 7. 地域とのつながり |
| 2. 友人関係 | 8. 地位や名誉 |
| 3. 健康状態 | 9. 良好な生活環境 |
| 4. 所得・収入 | 10. 自由な時間 |
| 5. 就業状況(仕事の有無・安定) | 11. その他() |
| 6. 仕事や趣味などの生きがい | |

問4 あなたは、5年前に比べ、ご自分が実感として幸せになっていると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

- | |
|--------------|
| 1. 思う |
| 2. ある程度思う |
| 3. どちらとも言えない |
| 4. さほど思わない |
| 5. 思わない |

問5 あなたは、5年後は、今よりご自分が実感として幸せになっていると思いますか。
あてはまる番号を1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 思う
2. ある程度思う
3. どちらとも言えない
4. さほど思わない
5. 思わない

問6 あなたは、福岡県に生まれて良かった、または、生活して良かったと思いますか。
あてはまる番号を1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 思う
2. ある程度思う
3. どちらとも言えない
4. さほど思わない
5. 思わない

問6-2 「問6」の答えについて、その理由は何ですか。
あなたがそう思われた理由を、ご自由にお書きください。

【県の施策について】

福岡県では、県民一人ひとりが幸福を実感できるよう、本県をもっと元気にする施策はさらに伸ばしていき、一方で課題や問題を抱えている県民の皆さんに寄り添う、温かみのある行政に、より一層力を入れていきたいと考えています。

今後の県政運営の参考とさせていただきたいと思いますので、次の問7から問24までの施策について、あなたのご意見をお聞かせください。

(防災対策)

問7 災害に強いまちをつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 県民への防災知識の普及や防災訓練の充実強化 2. 災害時における情報伝達体制の充実 3. 地域の自主防災組織の育成や消防団の充実、災害ボランティアの育成 4. 災害時に自ら避難することが困難な方（要介護者や高齢者など）の避難支援 5. 緊急時の避難場所や避難所の機能充実、帰宅困難者の一時滞在施設の整備 6. 災害時の医療体制の整備 7. 消防・救急体制の充実 8. 住宅、公共施設の耐震化促進 9. 河川改修、ダム建設などの治水対策 10. がけ崩れ、地すべりなどの治山対策 11. その他（ |) |
|--|---|



福岡県マスコットキャラクター「エコトンファミリー」

(防犯・事故対策)

問8 犯罪や事故のない社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 暴力団犯罪の取締り、暴力団排除運動の支援、保護対策
2. 飲酒運転の取締り、飲酒運転撲滅運動の推進
3. 子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組みの推進
4. 防犯に関する情報提供の充実
5. ニセ電話詐欺、窃盗等身近な犯罪の取締り
6. パトカーや制服警察官によるパトロール活動
7. 自主的な防犯活動をしている住民・団体への支援
8. 殺人や強盗など重要凶悪事件の徹底検挙
9. 青少年の非行防止と健全育成
10. 薬物乱用防止対策の推進
11. 交通安全教育や交通規制の見直しなどの交通安全活動の推進
12. 悪質商法などの消費者被害に関する情報提供や消費生活相談体制の充実
13. 食品の安全・安心の確保
14. テロやサイバー犯罪（コンピュータ技術及び電気通信技術を悪用した犯罪）対策の推進
15. その他 ()

(雇用対策)

問9 あらゆる世代の人がいきいきと働き、安定した生活を送ることができる社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 若者の就職支援
2. 中高年の就職支援
3. 子育て中の女性の就職支援
4. 低所得者、失業者に対する生活・就業支援の充実
5. 障がいのある人の就職支援
6. 企業ニーズ（知識、技術、コミュニケーション能力など）に沿った人材育成
7. 熟練技能の継承支援
8. 人材が不足する分野や新たな雇用が見込まれる分野への人材移転の推進
9. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の促進
10. 労働問題に関する労働相談の充実
11. 希望者の正規雇用への転換促進や非正規雇用の処遇改善
12. U I J ターン[※]希望者への就職支援
13. 時短勤務、在宅勤務などの多様な働き方の普及
14. その他 ()

※U I J ターン…Uターンは、地方出身者が都市圏への移住を経て、出身地に戻ってくること。Iターンは、都市圏出身者が地方に移住すること。Jターンは、地方出身者が都市圏への移住を経て、出身地近くの地方に移住すること。

(高齢者・障がいのある人)

問 10 高齢者や障がいのある人が安心してはつらつと生活できる社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまでを選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 高齢者の再就職・社会参加支援 |
| 2. 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（在宅医療、介護予防、生活支援など） |
| 3. 一人暮らし高齢者や認知症の方々の地域での見守り活動の推進 |
| 4. 高齢者・障がいのある人を介護する家族の負担軽減 |
| 5. 高齢者・障がいのある人の権利擁護の推進 |
| 6. 福祉・介護サービス人材の育成・確保 |
| 7. 障がいのある人の就職支援 |
| 8. 障がいのある人の社会参加促進と収入向上 |
| 9. 障がいのある人がスポーツに親しむことができる環境づくりやスポーツ指導者の養成と活用促進 |
| 10. 高齢者や障がいのある人が快適に暮らせるまちづくり（住宅の整備や公共交通の充実、バリアフリーなど） |
| 11. その他（) |

(女性)

問 11 女性が能力を発揮し活躍する社会づくりに向けて、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまでを選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 職場や地域などにおける男女の均等な機会と待遇の確保 |
| 2. 職場や地域などにおける指導的地位（役員、管理職、自治会長など）への女性の進出促進 |
| 3. 女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場環境づくり |
| 4. 勤務時間・勤務体制の見直しなどワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み |
| 5. 「男は仕事、女は家庭（家事、子育て、介護の担い手）」といった、性別による役割分担意識の払しょく |
| 6. 男性への男女共同参画の意識啓発 |
| 7. 子育て支援の充実 |
| 8. 女性の起業、キャリア形成支援 |
| 9. さまざまな分野で活躍している女性ロールモデル（模範となる人）の紹介 |
| 10. セクハラ、ストーカー、DV（夫婦・恋人間の暴力）、性犯罪の防止対策、被害者への支援 |
| 11. その他（) |

(子育て支援)

問 12 安心して子どもを生み育てることができる社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 妊娠から出産、子育てに及ぶ母子保健サービスや医療体制の充実
2. 保育サービスの充実（延長保育、病児保育、放課後児童クラブなど）
3. 待機児童の解消（保育所の整備や保育士の確保など）
4. 地域における子育ての情報提供や相談体制の整備
5. 子育てをしながら働き続けられる職場環境づくり
6. 子育て中の女性の就職支援
7. 男性が子育てや家事に関わるための意識啓発
8. 虐待や貧困問題、施設や里親家庭で暮らす子どもなど、きめ細かな対応が必要な子どもへの支援
9. ひとり親家庭の自立支援
10. 子育て家庭の経済的負担の軽減
11. 犯罪や事故からの子どもの安全確保
12. 社会全体で子育てを応援する気運の醸成
13. その他（)

(教育)

問 13 個性や能力に富み、学力・体力を備えた子どもを育てるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 確かな学力、体力向上のための取組みの推進
2. 個性や能力を伸ばす教育の充実
3. 望ましい職業観や勤労観を身につけるキャリア教育の充実
4. 障がいのある子どもたちへの特別支援教育の充実
5. 学校、家庭、地域の連携・協働の推進
6. 国際感覚あふれる子ども・若者の育成
7. 実体験を重視した教育の推進
8. 郷土を愛する心や人の痛みが分かる心など道徳性を養う心の教育の充実
9. いじめや不登校等への対応
10. 性や心の健康課題の解消、望ましい食習慣を学ぶための健康教育の充実
11. 青少年の非行防止と健全育成
12. 信頼される教職員の育成
13. 学校施設、社会教育施設、スポーツ施設の充実
14. 奨学金事業の充実などによる教育機会の確保
15. 自分の人権を守り、他者の人権を守るための人権教育・啓発の推進
16. その他（)

(若者)

問 14 若者が夢を抱き、将来に向かってはばたくために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。

(○は3つまで)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校や大学等の新規学卒者の就職支援 2. 早期離職防止のための取組みの充実 3. 若者の正規雇用への就職支援 4. 社会的企業（社会問題を解決するために活動する企業等）やNPO（民間の非営利組織）などへの就職紹介、支援 5. インターンシップ（就業体験）などの社会体験の機会の充実 6. 異業種や海外企業との交流などによる人材育成 7. 民間資金を活用した起業や新たなビジネスに挑戦する機会の提供 8. 若者の海外留学の支援や海外派遣研修の実施 9. 若者が定住できる生活環境の整備 10. ひきこもりやニートの自立支援 11. 出会い・結婚支援の充実 12. その他（ |) |
|---|---|

(保健・医療)

問 15 必要な医療を受けられ、健康で長生きすることができる社会づくりのために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的な健康づくりの支援 2. 生活習慣病対策 3. がん対策 4. むし歯や歯周病の予防対策 5. こころの健康・自殺防止対策 6. 難病患者などへの支援の充実 7. 感染症対策 8. 救急医療体制の確保 9. 在宅医療の推進 10. 山間部や離島などのへき地の医療対策の推進 11. 医薬品などの安全確保 12. 医療・看護を担う人材の育成・確保 13. 認知症を予防するための取組み 14. その他（ |) |
|---|---|

(商工業の振興)

問 16 活力にあふれ成長力に富んだ経済をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. アジアの発展に貢献する環境・エネルギー産業の拠点づくり
2. 自動車やロボットなどの先端成長産業の育成や拠点づくり
3. 資金調達や商品開発、販路拡大、海外展開など中小企業の総合的な支援
4. 創業支援やベンチャー企業（創造的・革新的な経営を展開する中小企業）育成
5. 商店街の活性化
6. 地場産業や伝統工芸産業の振興、販路開拓
7. 地域経済の活性化や雇用創出につながる企業の誘致
8. 物流の要となる空港、港湾、高速道路などのインフラ整備
9. 地方大学等との産学官連携による研究推進や専門人材の育成
10. その他（)

(観光振興)

問 17 国内外の観光客を呼び込むために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 農林漁業体験や産業観光など、参加・体験型観光の推進
2. 祭りの振興やイベントの実施
3. 観光ボランティアガイドや地域の観光リーダーなどの人材育成・活用
4. 観光案内板（多言語）、観光案内所、公衆無線LAN、駐車場などの整備
5. 良好な景観づくりなどの街並み整備
6. アジア地域を中心とした外国人観光客の誘致
7. インターネット、携帯電話などによる観光情報提供の充実
8. キャラクターやタレントを活用した観光PR
9. 波及効果が期待できる国際スポーツ大会や国際的な会議・見本市などの誘致
10. 国内外からの航空路線の誘致
11. その他（)

(農林水産振興)

問 18 食料などの生産や安定供給だけでなく、県土の保全などにも大きく貢献している福岡県の農林水産業を、今後さらに発展させていくために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 県産農林水産物とその加工品の一体的な売り込みによる販売・消費の拡大
2. 県産農林水産物のブランド化推進
3. 県産農林水産物を原料とした加工品の開発、販売を行う6次産業化の推進
4. 安全・安心で高品質な農林水産物の供給
5. 県産農林水産物の海外への輸出促進
6. 地産地消の拡大や食育・木育・花育の推進
7. 新規就農者など、農林水産業の意欲ある担い手の育成・確保
8. 県内外での県産農林水産物のPR
9. 生産者と消費者の交流・体験活動などによる農山漁村の活性化
10. 山間部など農業の生産に不利な地域への支援
11. 農地の保全、耕作放棄地の活用
12. イノシシなどの鳥獣被害防止対策
13. 直売所や道の駅などを活用した県産農林水産物の消費拡大
14. 水産資源(魚介類などの水産物)の維持・回復
15. 女性の活躍による農林水産業の活性化
16. 公共建築物や住宅における県産木材の利用促進
17. その他 ()

(地域振興)

問 19 地域それぞれの特色を活かし、魅力ある地域をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

1. 農林水産物や産地の技術、観光資源など地域の資源を活かした新商品開発の支援
2. 自然や食べ物、歴史、文化など地域の観光資源を活かした地域おこし
3. 住民による地域おこし活動の支援
4. 移住・定住促進などの人口増加策
5. 空洞化が進む中心市街地の活性化
6. 荒廃化が懸念される郊外市街地の再生
7. 空き家や空き店舗などの適正管理と有効活用
8. 地域住民の移動手段となる公共交通機関の維持・確保、生活道路の整備
9. 地方大学と地域との連携によるまちづくりの取組み
10. その他 ()

(インフラ・社会基盤整備)

問20 アジアとつながり、地域が密接に連携し発展するための社会資本を整備するために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. アジアの拠点となる空港、港湾の整備・充実 2. 経済・文化活動の広がりを促進するための基幹的な道路網などの整備 3. 生活の利便性や安全性を高めるための生活道路の整備 4. 移動手段となる公共交通機関（バス、鉄道など）の整備 5. 交通渋滞を緩和するための立体交差事業の推進 6. 安全・安心で快適に生活できる住宅や居住環境の充実 7. 県民の憩いの場となる都市公園、自然公園の整備・充実 8. 歩道や自転車専用道路の整備 9. 老朽化した橋りょう、トンネルなどの計画的な維持管理・修繕 10. その他（ |) |
|--|---|

(環境)

問21 環境と調和し、快適に暮らせる社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球温暖化対策の推進（家庭・事業所での省エネ推進、公共交通の利用促進 等） 2. 気候変動の影響への適応（熱中症予防、高温に強い品種の開発 等） 3. エネルギーの効率的利用と再生可能エネルギー（太陽光、水力など）の普及 4. ごみの排出抑制、資源化・減量化などリサイクルの推進 5. 豊かな自然環境や生物多様性の保全・再生 6. 美しい田園風景や、自然、歴史、文化などを活かした良好な街並みの保全 7. 公益的機能（水や空気の供給、土砂災害防止など）を持つ森林の保全や緑化の推進 8. 大気汚染、水質汚濁、生活排水、土壌汚染、騒音、悪臭などへの対策 9. 廃棄物の不法投棄対策の強化 10. 海岸のごみ漂着や越境大気汚染（PM2.5、黄砂など）への対策 11. 環境情報の提供や環境教育の推進、環境保全に取り組む住民・団体への支援 12. 動物愛護の推進 13. その他（ |) |
|--|---|

(NPO・ボランティア)

問 22 NPOやボランティア（以下、「NPO等」という）が活躍する社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。（○は3つまで）

※NPO…民間の非営利組織

1. NPO等の活動情報の提供（広報誌やホームページ）
2. 県民とNPO等との出会い・交流の場や活動への参加のきっかけづくり
3. NPO法人（NPOのうち、法人格を取得した団体）への指導の強化
4. NPO等の資質を向上させるための研修の実施
5. 県民や企業によるNPO等への寄附の促進
6. NPO等と行政（県や市町村）がともに地域課題の解決に取り組む事業の実施
7. NPO等と企業がともに地域課題の解決に取り組む事業の実施
8. NPO等の活動に参加するための休暇制度の促進
9. その他（)

(文化・スポーツ)

問 23 文化やスポーツなどの活動を盛んにするために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまで選び、○で囲んでください。（○は3つまで）

1. 文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会の充実
2. 文化芸術分野の第一線で活躍する人材の活用
3. 県民参加型のスポーツ大会の開催など生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり
4. 団体やサークル活動の支援・育成
5. スポーツにおけるコーチやトップアスリートの養成
6. ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機とした地域づくりや国際交流の推進
7. 地域文化の継承や振興のための取組みへの支援と文化財の保存活用
8. 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進
9. 生涯学習（講演会、講座など）や創作活動の環境づくりや指導者の育成
10. 美術館や博物館、図書館、スポーツ施設、文化施設などの拠点施設の充実
11. その他（)

(国際交流)

問 24 国際交流の推進や外国人との相互理解の促進のために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から3つまでを選び、○で囲んでください。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 文化芸術やスポーツでの交流 |
| 2. アジア諸地域との環境分野での交流 |
| 3. 諸外国との人材ネットワークづくり |
| 4. 若者文化を通じた交流 (まんが、アニメ、ファッションなど) |
| 5. 国際見本市、物産展の開催、県産品の海外展開への支援 |
| 6. 外国人が暮らしやすい環境の整備 (多言語での情報提供、相談窓口の開設など) |
| 7. 青少年などの海外研修事業 |
| 8. 留学生などの受け入れ体制の充実 |
| 9. 国際交流・協力活動を行う民間団体との連携や支援 |
| 10. 専門知識や技術をもつ外国人の県内企業や研究機関への就業支援 |
| 11. その他 () |

問 25 県民一人ひとりが幸福を実感できる「県民幸福度日本一」を目指すにあたって、あなたが福岡県に期待することや特に力を入れて欲しいこと、あなたが思い描く将来の福岡県の姿など、ご自由にお書きください。

【参考設問】

あなたは、この1年間に、ホール・劇場、美術館などで、料金を支払い、文化芸術を鑑賞したり、体験したりしたことはありますか。次の中からいくつでも○で囲んでください。

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 音楽 | 6. 映画 |
| 2. 美術 | 7. 歴史的建物や史跡 |
| 3. 演劇・舞踏 | 8. 鑑賞・体験したものはない |
| 4. 伝統芸能 | 9. 分からない |
| 5. 茶道・華道 | 10. その他 () |

【基本項目】

ご意見をお尋ねするのは、以上で終わりですが、お答えいただいたご意見を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えのない範囲でお聞かせください。

F 1. あなたの性別はどちらですか。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2. あなたの年齢（記入日現在）はおいくつですか。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 18・19歳	5. 50～59歳
2. 20～29歳	6. 60～69歳
3. 30～39歳	7. 70歳以上
4. 40～49歳	

F 3. あなたの職業はどれにあたりますか。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 農林水産業（家族従事者を含む）	5. 専業主婦・主夫
2. 自営業・自由業（家族従事者を含む）	6. 学生
3. 企業、役所、団体などの正規職員	7. 無職（定年退職者を含む）
4. パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など	8. その他
	()

F 4. あなたは結婚していらっしゃいますか（事実婚を含む）。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 未婚	2. 配偶者あり	3. 配偶者離別	4. 配偶者死別
-------	----------	----------	----------

F 4-2. 「F 4.」で「2. 配偶者あり」と回答された方のみにお尋ねします。

現在、あなた方は共働きですか。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 共働きである	2. 共働きではない
-----------	------------

F 5. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 子どもはいない	3. 2人	5. 4人
2. 1人	4. 3人	6. 5人以上

F 5-2. 「F 5.」でお子さんがいらっしゃる方「2. ~ 6.」を選択した方のみにお尋ねします。お子さんと同居していますか。同居されている場合は、同居されているお子さんの段階を全て選び、○で囲んでください。(○はいくつでも)

1. 同居している子どもはいない	1. 小学校入学前（乳幼児を含む）
2. 同居している子どもがいる	2. 小学生
	3. 中学生
	4. 高校生、大学生など
	5. 社会人
	6. その他（ ）

F 6. 現在のあなたの世帯構成についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 単身世帯（ひとり暮らし）	4. 親と子と孫（3世代同居）
2. 夫婦のみ	5. 兄弟・姉妹同居
3. 親子同居（2世代同居）	6. その他（ ）

F 7. あなたの世帯全体（同居の家族全員の合計）の年間収入（税込み）は、およそどのくらいですか。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 100万円未満	4. 500万円以上～1,000万円未満
2. 100万円以上～300万円未満	5. 1,000万円以上
3. 300万円以上～500万円未満	6. わからない

F 8. あなたは、福岡県に何年住んでいますか。過去からの居住年数を全て足した年数を1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. 1年未満	4. 10～20年未満
2. 1～5年未満	5. 20年以上
3. 5～10年未満	

F 9. あなたは、福岡県外に1年以上住んだことがありますか。1つだけ選び、○で囲んでください。(○は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

F10. あなたは、福岡県のお生まれですか。1つだけ選び、○で囲んでください。
(○は1つだけ)

1. はい (福岡県)	2. いいえ (福岡県外)
-------------	---------------



F10-2. 「F10.」で「2. いいえ (福岡県外)」と回答された方のみお尋ねします。あなたのお生まれはどちらですか。1つだけ選び、○で囲んで、() 内に都道府県名、または国名をお書きください。(○は1つだけ)

1. 北海道・東北地方 ()	5. 中国・四国地方 ()
2. 関東地方 ()	6. 九州・沖縄地方 ()
3. 中部地方 ()	7. 国外 ()
4. 近畿地方 ()	

F11. 現在お住いの市町村名についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。
(○は1つだけ)

北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
1. 北九州市	14. 福岡市	34. 直方市	49. 大牟田市
2. 行橋市	15. 筑紫野市	35. 飯塚市	50. 久留米市
3. 豊前市	16. 春日市	36. 田川市	51. 柳川市
4. 中間市	17. 大野城市	37. 嘉麻市	52. 八女市
5. 遠賀郡芦屋町	18. 宗像市	38. 宮若市	53. 筑後市
6. 遠賀郡水巻町	19. 太宰府市	39. 鞍手郡小竹町	54. 大川市
7. 遠賀郡岡垣町	20. 古賀市	40. 鞍手郡鞍手町	55. 小郡市
8. 遠賀郡遠賀町	21. 福津市	41. 嘉穂郡桂川町	56. うきは市
9. 京都郡苅田町	22. 朝倉市	42. 田川郡香春町	57. みやま市
10. 京都郡みやこ町	23. 糸島市	43. 田川郡添田町	58. 三井郡大刀洗町
11. 築上郡吉富町	24. 筑紫郡那珂川町	44. 田川郡糸田町	59. 三潁郡大木町
12. 築上郡上毛町	25. 糟屋郡宇美町	45. 田川郡川崎町	60. 八女郡広川町
13. 築上郡築上町	26. 糟屋郡篠栗町	46. 田川郡大任町	
	27. 糟屋郡志免町	47. 田川郡赤村	
	28. 糟屋郡須恵町	48. 田川郡福智町	
	29. 糟屋郡新宮町		
	30. 糟屋郡久山町		
	31. 糟屋郡粕屋町		
	32. 朝倉郡筑前町		
	33. 朝倉郡東峰村		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

* ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月22日（日）までに郵便ポストに投函してください。